

こういった学生達に対して、平成17年度のフォロー講座を通じて、「やりたい仕事ではなかったが、ここで技術を身につけて、もう少し先で『やりたい仕事』ができるようになりたい」、「大学で受験できなかった資格を働きながら受験したい」、「子育てが一段落したら大学院へ進学したい」といった「将来への希望」を語る視点を示すことで、社会人への円滑な移行を支援し、長期的な生きがい・働きがいを持ち続けることの大切さを改めて考えてもらえる機会を創ることができた。

学生達が社会人となってからも、就職先の企業や公的機関などで、節目節目に改めて自分のキャリア・プランを確認できる機会を拡げていくことにも、キャリア・コンサルタントの貢献が求められる。

今回の事業においても、担当キャリア・コンサルタントのサポーターとなったのは事業に参加した学生達であった。「人は人によって磨かれる」ことを改めて確信した。

今回の取り組み内容について肯定的・好意的な評価・感想を伝えてくれた学生達はもとより、否定的・批判的な評価・感想を率直に伝えてくれた学生達には、心から感謝している。

学生達の批判は「当事者意識」から発せられたもので、支援メニューの実施タイミングのズレへの指摘、総括り的な支援ではなく個人個人の状況をちゃんと見極めて適切な支援を適切なタイミングで実施することへの要望、学内講座にとどめるのではなくフリーター・ニート層への講座開放の提案、講座内容の重要性に見合わない実施時間の少なさへの批判など、「こうすればもっと実際に役に立つのに！」という発想から生じたものであったからである。

平成17年度のフォロー講座実施の際も、ほぼ10ヶ月近く経過していたにも関わらず、前年度の講座で実施した個々のワーク内容と自分の気づきを詳細に覚えており、それを就職活動にどう役立てたかを伝え、謝意を述べた学生が参加者全体の1割近くいたことは、大変嬉しい出来事であった。(今回に限らず、参加型・体験型講座で「気づき」を得ることができた参加者は、それを自分のキャリア形成のため有効活用できていることが多い。)

また、自分達に続く学年次生に対しても同様の講座を継続実施することを望む意見も多く、各教育機関において今後同様の講座が定着していくことが望まれる。

最後に、参加学生からの感想の一部を紹介することで、今後もこのような取り組みが継続実施されていくことの必要性を喚起したい。

「これからもこういった講座は必要だと思います。ダルイとか思う人もでてくるでしょうが、かならず必要な事なので、つづけてほしいと思います。」

平成 16 年 11 月 30 日感想

No.	面白い、役に立つと思ったこと	難しい、分からない、役に立たないと思ったこと	その他希望・感想・意見など
1	自分を見直す事。目標の設定。	確認しないシートの記入。講義の目的。目的のハッキリしない話し合いの時間。	役に立つ課題。
2	今までの自分って振り返ることがないので面白かった	自分を振り返るのは難しいなと思った。	無回答
3	自分の過去を振り返る事。自分の意見を整理し、自分の言葉で伝える練習をする事。	今現在の自分の状態を自分で判断する事。	自分の意見を言わず機会がもっと多くあれば良いと思う。
4	人が何かしゃべったこと。ハデな服はめだつ。	いろいろ書かされたが何のためになるか、いまいち理解できない。	無回答
5	なし	仕事を変えるつもりはないので「ヒトゴト」としては楽しめた	なし
6	最後にみんなに感想を聞いた時に、質問された本人が思っていたこと、感じていたことを聞くことができて良かった。自分を見つめ直して、新しい発見があって良かった。	無回答	講師の方々のいろいろな体験談を聞いてみたい。
7	自分の過去を振り返るのが役に立った。	幼稚園位の記憶がなくて書くことが難しかった。	現在の状況が考えることでよくわかったのがよかった。
8	自分のこれまでを振り返るのは、いろいろ思い出したりして、自分の性格とかが改めてわかった。	無回答	あまりたくさん書けなかったのも、これからは面接などでも恥ずかしがったりせずに、思ったことや、伝えたいことなどをはっきり言うように心がけたい。
9	アンケートや自分の経験などで過去を振り返ってみて、内容が大まかであったので、もう少し思い出してみても、どのようなことがあったか考えてみたいと思う。	何か目標を考えることが難しい。自分で考えることは難しいが、できるようになっていきたい。	講座内容は良かった、いろいろ書く機会であった。
10	文章の大切さをあらためて知った。	自分の思っていること、考えていることを文章にして書くことの難しさをあらためて知った。	あらためて自分の人生をふりかえって忘れていたことなどを思い出したりした。充実した時間を過ごせた。
11	自分を振り返って書き込むという作業	無回答	無回答
12	自分は余り過去の事等思い出したりしない性格なので、この講座でいろいろ思い出せてよかったと思います。	過去の事とか気にせずに、やりたい事は大体やっているの、悩んでいる事等を探すのが難しかったです。	無回答
13	昔の自分を思い出せた。今とは本当にちがっていたなと思います。	無回答	思ったことが頭の中でうまく整理できなくてうまく書けなかった。
14	何をすることも書くという作業は大切だと思いました。書いていく内に次々と思い出したりしました。	難しいや分からないと思った点は全くありません。役に立たないどころか、このような作業は大切な事だと思います。	あまり人に見せたくない事まで書いてしまったので、意見の言い合いなどに参加しなかったです。
15	久々のアンケート的な感じだったので、楽しい作業になっていた。「書く→整理する」というのは、よく大切だといわれるので「自分自身の整理」をする作業として、大変役立つと思えます。	グラフは不要と思えます。	無回答
16	各立場における自分の「満足度」から「それらの改善」までの段階を踏む作業は効率的に思えた。	しかしながら、上で「改善がいちじるしく難しい問題」であった場合に逆に落ち込む。	特になし。
17	今の状況を降り返って、改めて考えるという事をした事がなかったので、とてもいい機会になりました。	僕は卒業後、空手の指導員として仕事して、そのあいまに車の整備の勉強をしようと思っていますので今日の話と自分の卒業後の事をどうかみ合わせるかに少し困りました。	通学に2時間かかるという状況の中で、時間をどううまく使うかを学びたいです。
18	今までのことをふりかえって、いろいろと考えさせられ、今の自分になにが無いのか、なにをしなければいけないのかを考えさせてもらい、よかった。	今の学校生活やバイトのことを考えていくといがいと難しかった。	また、こういうのをやってほしい。
19	自分の意見を文章にまとめることが役に立ったと思う。	文章にするために考えたりまとめたりすることが難しかった。	文章書くのになれるためにもっと書く練習をしたい。

No.	面白い、役に立つと思ったこと	難しい、分からない、役に立たないと思ったこと	その他希望・感想・意見など
20	自分の思っていることを思っているだけでなく声に出したり紙に書いたりすることは自分の事をもっと知ることができるので役に立つことだと思いました。	実際の面接はもっときびしい。こういう勉強も大切だけどもっと他にやることがあるかもしれないと思う。	ディスカッションとかおもしろいかも。
21	役に立つ企業のしくみが少しでもわかった気がします。	ありません。	グループでの話し合いなどおもしろいのではないのでしょうか？(何かテーマを決めて)
22	エントリーシート作成にあたって、「その内やらなければ」と思いながら、やっていたなかった事が出来たのでためになりました。	無回答	自己PR、エントリーシート作成、面接(グループディスカッション・個別)etc.、自己啓発や対策のためにもぜひ行ってほしいです。
23	最近の企業の傾向などの片鱗が見えた気がした。	何度も似たような作業をしてきたので、特に難しいとは思わなかった。	最後に質問されたけど、ランダムや気分、日付などで対象を決めるならともかく、「一番前だから」などという安直な理由で当てるのはやめてほしい。突発性があるから効果があるので、毎日あてられるのが「分かっている」なら突然の質問ではなくなります。
24	今、自分のおかれている立場、今自分に必要なものを再確認することができた。授業外でも一人で、1ヶ月に一度でも考えるということ、これから先わすれるまでしたいと思った。	役に立たないとは思わないが、やはり知り合いでない子と、自分のけいれきを見せあって話しをするようにというのは突然すぎてはずかしかったりするので、かんたんには出来なかった。	無回答
25	講座が終わってみて思った事は面白かったなと思った。ふだんふりかえることのない過去をふりかえったりして、そう思ったのかもかもしれない。	自分達の役に立ってくれるためにみなさんきてくれているので、そういった点はなかった。	ひきびきに後味のいいのしい時間をすごした気がしてよかったです。
26	気分がほぐれて楽になった。	ちょっと気になることは、どれくらいのことなのか？	記入の上の課題の内容や例:「～だったらいいなあ」という言葉なので、表現をしばっているなと思った。
27	過去を思い出すということはけっこうなつかしかった。	特になし。	自分の再確認ができたと思う。
28	いままでの事を思い返すことができよかったし、新しい発見もあって役に立ったと思った。	かなり昔の記憶が思い出せなかったの、それを考える事は難しいと思った。	こういう授業を受けることがいままでなかったの、今日体験してとても勉強になったし、これからこの経験を生かしたいと思った。
29	「宣言」はなかなかよいと思う。普段生活していて宣言してやる事なんてないし、こういう機会に1週間の目標的な事を書いてみると、普段意識していない事を意識できるし、また意識がどこかにあるというのは、いつもの生活とは少し変わってくるかな？と思う。	僕は何かあるたび振り返るから意味なかった。	なし！！
30	自分の過去を振り返るなんて本当に久しぶりだったので、自分にとっては良い講義だったと思います。	ワーク1の現在の状況を線上に表すというのは難しいものだと思う、というより数値で出すのが難しい。	ないです。
31	むかしの自分をふり返っているいろいろ思い出せたので面白いと思った	特になし。	特になし。
32	別にない	ワーク4の宣言が一番役に立たないと思った。	時間を守ってやってほしかった。言った時間より短いのは最悪だと思った。
33	自分をふり返れたことがおもしろかった。	「キャリア」って何ですか？	無回答
34	自分が何者かということを考えることができた事。	特になし。	特になし。
35	自分の過去を振り返ってみて、自分を知ることが大切な事なのだとことを学んだ。	自分の事なのに、意外と分からないことが多かった。ふだんにも考えずにいたのだと思った。	無回答

No.	面白い、役に立つと思ったこと	難しい、分からない、役に立たないと思ったこと	その他希望・感想・意見など
36	とても話は聞きやすく、面接などのこれからかかわってくるような話を聞けてとてもよかった。	やっぱり自分の思っていることをなかなか文にできなかったのでもううまく書けなかった。	無回答
37	今まで生きてきているので人それぞれちがった生き方をしているのでそういうのを話し合うことで色々な人生けいけんをきけてよかったと思います。	1週間の間には何かを取り組むのは難しいと思いました。すぐには思いつけなかったです。	次からもどんどんこんな楽しいことをしてくれるのでしたら大歓迎です。
38	いろいろと質問がありましたが、以外に答えはすぐ出てきました。「家庭生活」に関しては近年になって、親が定年近いのに大学に通っているのかと自分の周りに目がいくようになっていたと思いました。	「経験」と「気持ち」の棚卸で、気持ちの動きを波線で書くのが難しかった。どぐらいがやる気があったのかと考えさせられました。	もっと各質問で時間をとってほしかったです。
39	今日昔の思い出を振り返り、自分の好きなこと、得意な事をどう役立てていったらよいか、を考えさせられた。	ワーク4の宣言は、宣言してみたものの、本当に達成できるかは自分の意識しだいなので難しかった。	無回答
40	自分の今までの人生や、今の状況などをふり返ることはほとんどないので考える機会になってよかった。	無回答	自分の今までのことを振り返って私の人生素敵だなあと考えた。
41	昔のことを振り返ってみて、自分はこういうことで嬉しく楽しく思えたり、落ち込んだりと再確認でき、考えることが楽しかった。今のこの状況を知ること、未来に向かっての方向性が考えられてよかったと思う。	自分のことを考えて書くというのは以外と難しかった。	無回答
42	書くことが嫌いなので、面倒くさかったです。	昔を振り返るのはあまり好きではないので、役に立たないかなあとは思いました。	どちらかと言えば昔を知る作業より、今自分がやりたいこと、興味あることが何か、を知れるような作業だったら良かったなあと思いました。昔の自分より今の自分を知るほうが難しいと思うので。
43	自分の気持ちを波グラフにするのは初めてで今までにあったいろいろな出来事を思い出した。現在の状況の満足度を確認して問題点を再確認できた。	無回答	高校の時にやった自分発見の授業に似ていると思った。
44	自分の過去を思い出した時、とてもなつかしく思った。普段は「明日はこうしよう」とか「今夜はこんなことをしよう」など、未来の事しか予想しないので、1週間に1日くらいはこういう事してみたい。	言葉にするのは難しい。	無回答
45	毎日の生活を丁寧に振り返ることをしたことがなかったので、そういうことも大事だとわかった。面接する側の人は何を知りたいのか具体的に理解できた。	無回答	無回答
46	エントリーシートで自分の強み等を書くことがあるので、自分の今までの振り返ってみることで、書けることが見つかったので、よかったと思います。	幼稚園～小学校前半ぐらいまでの記憶はあまり出てこなかったので書くのが難しかった。	就職活動に役立つこと、自分のためになることを学ばせてもらえたらうれしいです。
47	アンケートを書く時間をもう少し長く取れば、もっといろいろ書けたでしょう。	生徒さん達のために行っている講座ですから、役に立たないとは思っていません。	一人ずつの個人面談などを行ってみたいかがでしょうか？
48	現状や過去の事について考えたこと	過去の事をなかなか思い出せなかった。	今のこともあまり考えずに生活しているので昔のことを思い出すのが大変だった。

No.	面白い、役に立つと思ったこと	難しい、分からない、役に立たないと思ったこと	その他希望・感想・意見など
49	無回答	無回答	今日、ワークに書いたような事は普段からよく考えていると思う。学校生活や家庭生活の事は常に考えていないとうまくいかないと思う。
50	自分の今までの生活を書いたのは初めてだったので、面白かったと思います。今までを振り返る事も大切だと思いました。	とても役に立ったと思います。	宣言が一番頭に残りました。ただ紙に書いただけなのに、その内容に対してとてもやる気が出ています。これからも何かを頑張る時は、宣言用紙を書こうと思います。
51	波線。実際書いてみて、自分が自分をどう思っているかわからないと思うのがおもしろかった。忘れてるなど改めて思いました。	昔の自分の気持ちがあやふやになっていたの、波線がスムーズに書けなかった。	もう少しいろいろワークをやりたかった。時間的にヒマになっている間の何かをほしい。
52	昔の事を思い出してなつかしかったです。	思い出して文章にするのが難しかったです。	特にありません。
53	昔を思い出すと過去の栄光に浸ったり、楽しい思い出やその時の苦労や努力してた事を思い出して元気が出た。	自分が過去にとった行動を今客観的に自己分析することはとても難しい。	無回答
54	グラフにして書いてもう一度自分を見つめ直せた。	グループディスカッションが難しかった。	とても嫌だった。
55	高校以降の事は振り返ることがあるが、それより古い事をいろいろ思い出したのは本当に久しぶりだった。昔の方がパワーがあった。	文章にするのが難しい。	無回答
56	普段、今までの出来事を振り返ったり、考えたりすることが少ないうえ、思った事を言葉・文字として書くということをしていなかったの、自分の思いであるのに、うまく表現しきれなかったが、少しずつこのように自分を振り返ったり、表現することに慣れるためにも、この講座は一つのステップになることだと感じました。	自分の思いを文章化することはとても難しいことだと感じました。	無回答
57	今自分はこういったことをしてきて、ここまでできたのかをあらためて、この講座によって認識し、これからはどうしていきたいのかを考えるきっかけになったと思います。	私には事故によりある所の記憶がありません。そこが分かりません。	次回もこういったこと、したいです。
58	自分のこれまでを振り返って、これからの日常生活に役立てたいです。	宣言をしても最後は自分の意思だと思いました。	自分を振り返って良かったです。

平成 16 年 12 月 7 日感想

No.	面白い、役に立つと思ったこと	難しい、分からない、役に立たないと思ったこと	その他希望・感想・意見など
1	TV の心理学でやっていた内容だったので、自分のタイプは知っていた。コミュニケーションを上手くするのは、上顔だけのつき合いが上手なものだと思う。	自分の失敗と思った事は、なおすようにしているの宿題が難しい。	あまり、無理にまわりと話させないようにしてほしい。
2	自分の性格がわかって面白かった。	自分の性格って自分ではわからないなって思った。	無回答。
3	自分のタイプを客観的に知る事ができ、普段は意識していない、他の人からどの様に見られているかを知る事ができた事。	無回答。	自分の行動パターンを知れた事で悪い所を修正していける様努力します。
4	別がない。	なし。	特になし。
5	おもしろい。コミュニケーションで分類されるのははじめて。	なし。	なし。
6	自分を見つめ直すことができよかった。自分が感じ、思っていることがタイプとして見つかったのがよかった。	無回答。	無回答。
7	自分のタイプが分かってよかった。	時間帯や状況によって解答がかわっていくので難しかった。	いろいろなタイプがあることがあってよかった。
8	自分のパターンを知ること。	無回答。	あいかわらずゲーム風のことをやるとみんなもりあがる。自分もほかのことでもこれくらいスラスラすすめばいいのに。
9	チェックシートで対人行動のパターンをわけて判断するのはよかった。結果、自分にあてはまる項目もあり、納得できたりした。	無回答。	無回答。
10	自分のタイプがわかった。	宿題がまったくおもしろくない。	タイプは分かったが中途はんばに当たった。
11	性格を知るアンケート。	無回答。	無回答。
12			
13	かぜをひいて考えられない。	無回答。	無回答。
14	自分のパターンが分かったのがよかった。	特になし。	普通
15	就活に生かしていきたいと思う。	無回答。	無回答。
16	無回答。	コミュニケーションパターンの分類が大雑把に思った。	無回答。
17	自分のタイプをはっきり知れた事。	基本的に理解できたので無し。	無回答。
18	自分の意見もだいじだが、みんなの意見もだいじにしていきたい。自分のせいかくのタイプがわかってよかった。	無回答。	無回答。
19	表現のパターンは結構あたってておもしろかった。まちがったことはまちがってるっていつてしまうのでこわがられることがよくある。	特になし。	今日みたいに早く終わってほしい。
20	点数が単純に0か2点とかじゃなくておもしろかった。	無回答。	あらためて自分の性格がわかった。
21			
22	無回答。	ある程度状況や自分の性格を考えて行動する様になっているので、今回の研修は特に興味を持てなかった。	無回答。
23	自己判定によくある判定とは違ったからよかった。	今日は全体的に普通に聞けた。	判定等はよく知った友人に書いてもらうと精度が上がると思う。
24	チェックシートでの自分がどのようなタイプなのか、端からみて自分はどう思われているのか、少し気になっていたのがよかったと思う。	無回答。	無回答。

No.	面白い、役に立つと思ったこと	難しい、分からない、役に立たないと思ったこと	その他希望・感想・意見など
25	面白いと思ったことは、みんなのタイプがわかった事。	なしです。	今日みたいな事をガンガンやってほしい。
26	アンケート結果の人格判定の結果がおもしろかった。	名札。	無回答。
27	自分のパターンがわかったことがよかった。	なし。	自己分析はたのしかった。
28	自分の性格判定をしてみて、いつも自分の思っていた性格と違うものが出たのがおもしろかった。	なし。	今日は前回とちがって楽しんで授業を受けることができたと思う。
29	色々な話が聞けて勉強になった。	色々な話の中にそんな部分もあった。	前でしゃべりすぎ、ねむい。
30	自分のタイプが分かった事は役に立った。	でも、自分の中では十人十色というようにたった四つのタイプで人間は区別できないと思う。分かるとしてもたった30問の質問では。。。	無回答。
31	自分の発見ができてよかった。	特になし。	特になし。
32	ない。	ない。	早く終われ！
33	自分がどういうタイプなのか分かった。	そんなタイプに縛られるのがいや。	無回答。
34	時間が過ぎるのが早かった。	コミュニケーションは大切だと思う。	なし。
35	人にはだいたい4つのパターンの表現のしかたがあるのがわかった。	表現のパターンが2つあてはまるものがあり、どっちが本当なのか分からない。	なんかよくわからない研修だった。
36	チェックシートで自分のタイプを調べて友達と話すのは楽しかった。	宿題のやり方はわかるけど、書くことがあるかどうかというか書けるかどうか分からない。	無回答。
37	自分の性格判断はけっこう当たっているところがあったので、たのしかったです。次もおもしろい問題とかよろしく。	なし。	なし。
38	対人行動3つのパターンとアサーションという表がありました。パターンBの大衆同化アサーティブもどき型はどこにあてはまるのか気になった。	宿題の課題が難しいと思いました。そんなに困った事がポコポコあるわけでもないのに、この宿題を出されて困った事を書こうと思います。	無回答。
39	自分の思っていることを相手に伝えるにはどうしたらよいか、あらためて考えさせられた。	無し。	勉強になった。
40			
41	コミュニケーションという言葉の由来がわかった。	無回答。	自分の性格など調べることがおもしろかった。
42			
43	自分のタイプを判別するのはおもしろかった。こういう系のタイプ判別はだいたい同じじゃかになることがおおい。	無回答。	無回答。
44	たんじゅんなアンケートでいろんな事がわかったのでとても楽しかった。でも自分の性格とあっていないような気がした。	思っていることを口に出すのはやっぱり難しい。	無回答。
45	コミュニケーションのタイプチェックが大変役に立った。すごく反省しました。コミュニケーションとは何か、すら考えたことがなかったです。	無回答。	無回答。
46	自己分析ができてよかった。	特になし。	もっと自分のパターンを知りたい。
47	自分がどれだけ冷静な判断ができるかがわかりました。	人の考え方を変えるのは難しいことだと思います。	質問されて言いたくない人もおられますので、素直にパスしてあげてください。
48	自分の意見もしっかり言う。	感情の元となっている考え方。	ありません。

No.	面白い、役に立つと思ったこと	難しい、分からない、役に立たないと思ったこと	その他希望・感想・意見など
49	あまり面白くなかった。自分の性格はあたっていたと思うけど、前から自覚しています。	無回答。	無回答。
50			
51	テスト。	Bタイプだったが、私から見て自分は違う。	無回答。
52			
53	他者との考えのちがいは、だきょうしあって互いの考えを認めあうことだと思った。	無回答。	無回答。
54	自分の事や人の事が分かったら面白かった。	よく分かった。	もっと A,B,C,D のパターンの内容を深く知りたいと思いました。
55	表現パターン分析が自己分析みたいで楽しかった。	特になし。	パターンごとのあいしょうが知りたかった。
56	自分の性格がよくわかってよかった。	無回答。	無回答。
57	アサーションチェックの結果がそのまま自分の事を言われている様だった。	無回答。	宿題は。。。忘れないようにしなければ。。。。
58	自分の表現パターンがわかったので良かった。結構優柔不断な所があるので△印が多くなったけれど、パターンBになったが、自分自身ではパターンCの内容に近いと思っていたので、実のところの自身のことが少しわかったと感じた。	「自分の感情と考えについて」は、普段考えることが少ないことなので思いだせないと思った。	特になし。
59			
60	自分が良くわかったと思う。	これからの自分に役に立つかどうか分からない。	良かった。

平成 16 年 12 月 14 日感想

No.	面白い、役に立つと思ったこと	難しい、分からない、役に立たないと思ったこと	その他希望・感想・意見など
1	基本的すぎた面白くない。相手が異常な人という内容の方が役に立つと思う。	なし	人それぞれなので、最低限の気をつかえば良いと思う
2			
3	無回答	普段、当たり前話している事なので、ここまで深く考えなくても良いと思う。	無回答
4	なし	なし	なし
5	いいかた	なし	なし
6	講師の方が伝えたいことが理解できてよかった。	無回答	ペラペラ喋っている人に注意してほしい。
7	DESCは役に立つと思った	自分の気持ちは難しいと思った	人にいろいろ伝えることは大変だと思った
8	無回答	無回答	内容が難しくなってきた
9	先生のシチュエーションが面白かった	自分の言いたいことを明確にすることは大変難しいです。DESC法	無回答
10	DESC法	DESC法を書くのが難しい	どんな例題を出されてもすぐDESC法が使えるようにれん習したい
11	DESC法	無回答	無回答
12	無回答	無回答	今日の講ぎはきょうみぶかかったです
13	やり方がわかりやすくて面白い	相手の心が分からないから、話しあうことはとても難しい	無回答
14			
15	役に立ちそうです。	無回答	無回答
16	問題等の解決法の整理にシートを使う法	無回答	無回答
17	DESC法	ない	お疲れ様でした
18	DESC法、アサーションについて	例題が難しかった	無回答
19	話のしかたのじゅんじょがわかりよかった。あいてのきもちも聞くことが大切だと思った。	無回答	話すことはむずかしい！
20	特になし	DESCが難しかった	もうちょっと簡単なやつにしてほしい。
21	ふつうでした	3回が限界	無回答
22	心理学	なし	マイクの声大きい、もう少ししずかに、あせりすぎ
23	特になし	特になし	今日したのは普通のことだと思う。
24	困った時の対処	特にない	当たっている人が同じ人ばかりです
25	モットイロイロなこと(自分のこと)友人、会社の上司にしまらおうと思った。	無回答	無回答
26	DESCについてあいまいだったところを親切に教えてもらい、よくわかりました。	難しい、分からない、役に立たないと思ったことなどといったことは、いっさいなかった。	これからもどんどんこんな感じでいてください。
27	相手の考えと行動が面白い	英語、難しい	ない
28	特になし	友人相手なのだからそんなにじょう歩しなくてもいいと思う	特になし
29	DESC法という方法があることを知らなかったなので、今日やってみても勉強になった。	なし	なかなか相手とのコミュニケーションはむずかしいのでこれからはこの方法をいかしたいと思う。
30	DESC	ない	もう少し楽しい講座にしてください
31	特になし	正直このような事は生きていくと自然に学べるものだと思う	なし
32	特になし	D・E・S・Cが分からなかった。	特になし
33	ない	ない	時間使いすぎ、部屋暑すぎ

No.	面白い、役に立つと思ったこと	難しい、分からない、役に立たないと思ったこと	その他希望・感想・意見など
34	相手の事を考えること	ない	無回答
35	今日の講義は分かりにくかった。説明の意味が分かりにくい。	おもに説明が分かりづらかった。	特になし。
36	DESCにあてはめると自分の伝えたいことが伝えやすいのかなと思った	実際にDESC法を使えるのかどうか	無回答
37	無回答	無回答	今日はカゼひいててけっこうしんどかった。
38	前回の宿題でやっていたので楽しかった。おもしろかったです。	無回答	無回答
39	・話をする時にどのように話せば相手に自分の思いを伝えられるのかを考えるヒントになりました。 ・アルバイトでお客さんを相手にする事が多いので明日から考えて見ます。	無回答	無回答
40	アサーションという言葉を知って勉強になった	DESCがややこしい	無回答
	話し方がすごく面白い。分かりやすい。	無回答	無回答
41	コミュニケーションについて、なんとなくわかった。	無回答	無回答
42	あまりこういうことがないので考えさせられてよかったと思う	無回答	無回答
43			
44	DESC法はいしきせずに皆やっていると思う。	無回答	眠たかった。
45	いろいろな話が聞けてとても勉強になりました	特になし	特になし
46	D・E・S・Cという考え方はすごくいいと思った。	無回答	無回答
47	ジョハリの窓がおもしろかった	特にない	特にない
48	考え方のまとめ方がわかりました。	難しいとは思ったことが無いです。	今は無いです。
49	相手のことも考えて話をする	特にありません	特にありません
50	よくわからなかった。D・E・S・Cは相手によっていろんな対応のしかたがあると思う。	無回答	無回答
51	無回答	無回答	相手によって自分のとる対応が変わってくるので、書けと言われても書きにくかった
52	DESC	特になし	特になし
53	国語の授業を思い出した。	特になし	楽しかったと思う
54	無回答	無回答	無回答
55	先週の方が役に立った	もっとリアルなコミュニケーションの取り方を教えてほしい	無回答
56	DESCのまとめ方	自分自身と相手を理解しあうこと(特に自分自身)	特になし
57	いろんな見方があるんだと思った	無回答	無回答
58	4つの窓の話は心理学の授業のときにもでてきた。対応の仕方等については昔会社に勤めていた頃の事をいろいろ思い出した。	無回答	無回答
59	ジョハリの窓は心理学の授業でしていたので再確認でき、教職課程で生徒に対することだけでなく自分自身にもおおいに当てはまることだと思いました。	起こった出来事などを客観的に書くのは難しかった。どうしても感情が入ってしまいがち。	なし
60	色々と考えさせられる所が楽しかった	げき？	しばいをうまく

平成 16 年 12 月 21 日感想

No.	面白い、役に立つと思ったこと	難しい、分からない、役に立たないと思ったこと	その他希望・感想・意見など
1	面白いが役には立たないと思う。自己を主張するか、折れるかしかないから、どちらを優先するか決める必要がある。	主張か、合わせるのか社会には必要に応じて変化が必要であるのに、この授業ではハッキリさせてなかった。	チーム戦をするならば勝敗が必要。
2	初対面の人といかに話す事ができるか、というのが面白く役に立つと思った。	意外に自分の中での順位ってのが分からない	無回答
3	人の意見をよく聞く事。それによって自分と考え方の違う人間の良い所を手に入れられる。	意見をまとめる事。6人の意見がまとまる事は、まずないので、妥協点を探すが、それでも難しかった。	無回答
4			
5			
6	普段ならいつも話し慣れている友達としか話さないし、自分から話しいこうとする勇気がなかったりするので、こういう話し場をもらえると、うれしいです。	無回答	無回答
7	他の人の意見を聞いて色々な考えがあることを知って面白かった	グループの中で一つに意見をまとめるのは難しかった	今までの授業で一番楽しかった
8	無回答	無回答	大事な物にあえて順位をつけるのは難しかった
9	今回は今までで一番自分の意見を話せました。人それぞれの考えが聞けて良かったし、いろいろと考えさせられた。	自分で順位をつけることと、グループで順位をまとめることが難しかった	無回答
10	なし	なし	いろいろな人の意見が聞けてよかった。
11	みんなの意見をきいてまとめること。	無回答	無回答
12			
13	他の人の意見が聞けることなんてないからとてもいい勉強になった	無回答	無回答
14	皆と話し合うことについては役に立つと思います	順位がつけられないくらい全部大切だと思った みんなの意見をまとめるのは難しい	無回答
15	久々に変な悩みを持って良かった気がします。	無回答	無回答
16	価値観の概ねの傾向とか。	6人3列では両端がしんどい	無回答
17	自分の意見だけでなく他人の意見もとりこんでいき、違った考え方の大事さを知りました	マイク(音量)が大きいのでは・・・	お疲れ様でした。ありがとうございました。
18			
19	一人一人のちがう考え方が聞けて、勉強になった。どれも一番目になってもいいやつばかりなのでむずかしかった。	無回答	無回答
20	わかってはいるつもりだったけど、人それぞれでだいぶ価値観や考え方がちがったこと。	グループみんなの意見をまとめること	こうゆう時間をふやしてほしい
21	班分けがよい感じに適當だった	なし	まわりの人がどんな考えを持っているのかわかって勉強になった
22	発表	ない	いい話し合いでした またきかいをもうけてください
23	グループでのディスカッションは新しい発見もあり面白い	特になし	もう少し時間を取って頂ければなおよかったと思う

No.	面白い、役に立つと思ったこと	難しい、分からない、役に立たないと思ったこと	その他希望・感想・意見など
24	他人の考えている事のとえ表面だけでも分かる。そしてその人の価値基準が分かることでその人はどういった事を重んじるか	今日は役に立たないことはなかった	特には・・・
25	あまりしゃべらなかつた人達としゃべる空気になった。よそう以上におもしろかつた。また、その人たちの(しゃべつたことなかつた人なのに)、考えをちよくせつきけてよかつたと思う。	無回答	無回答
26	今日もまた新しい事をして、少し友達のわをを広げることができたと思います。これからももっとせつきよくてきにいこうと思う。	なし	これからもガンガンいきましょ
27	発表前に作つた意見を発表時に全てくつがえされてしまつた	愛情で何だ?	ない
28	今日のディスカッションはおもしろかつた	みんなの意見の統一	特になし
29	やっぱり他の人と話して自分をはちがう考えをもつているからそれを聞くことによつて自分の意見もかわつたりするから今日は役に立つたと思う	なし	いろいろな人の話がきけてよかつたと思つた
30	ワーク2 に書いたとおり、いろいろな人の意見が聞けてよかつた	今はそ一思つてもそのうち役に立つと思つう	ない
31	自分の内気な所を再確認できたかなと	順位を付けたくなかつた	なし
32	話し合つたのが面白かつたです。	特になし	特になし
33	他の人と話せた	ない!	ない!
34	グループの人が思つている事が分かつて良かつた。本音が聞けて自分も本音で話せた。	なし	なし
35	いろいろな人と話せてよかつた	弱気な気持ち	特になし
36	いろいろな人の意見を聞けたのはよかつたと思つう。そこからいろいろなことを考えられました。	知らない人へ話すのは難しい	無回答
37	最初、座が変わつてゐることを聞いた時はどうなるかと思つたけど、おもいのほかおもしろかつた。	無回答	無回答
38	人の意見をきくことができてよかつたです。役に立ちました。	順位はみんなで決めないでいいと思ついます。それぞれなので意見を言うのはいいと思ついますが。	もっともつとこつうのをしてほしいです。
39	それぞれが自分の考えを持つていて、今までの人生での体験から順位が違つてきてゐる。みんなががんばつて生きてるのだと思ついました。	無回答	グループでの話し合いの時間をもつととつてほしかつた。話をできたのは楽しくよかつたです。
40	他人の意見に耳を傾けること。	無回答	人それぞれ、意見・考えはちがうので楽しいと思つた。
41	みんなと話せて面白かつた	無回答	ざつき感想を書いたのもう1回書くのは必要ないと思つう
42	話していて楽しかつた	無回答	今日のプレゼンはいつもと違いグループでやるというところが新鮮だつた
43	自分の意見をしっかりと持つ	自分の意見と他人の意見の違いがあるのは仕方ないけど、どこで折り合いをつければいいのか難しかつた	特になし

No.	面白い、役に立つと思ったこと	難しい、分からない、役に立たないと思ったこと	その他希望・感想・意見など
44	無回答	無回答	人の色々な意見を聞いてさんこうになった
45	まったく話したことの無い人がほとんどだったので、やはりなれるまでに時間がかかったが、こういう事はどんどんしていきたい方なので、またやってみたいと思う	無回答	無回答
46	話したことすらない人達といきなり何かを決めることはない経験だった。意外とできるものだったと思った。	無回答	無回答
47	メンバーが変わって様々な意見を聞くことができよかった。	今回のことはあんまり順位をつけたくなかった。	特にないです。
48	意見の出し合いがスムーズだったから、私も楽しかった	今日は無いです	人に順位を与えるべきなのでしょうか？
49	自分の意見と他人の意見が違った時、違う意見を聞いたこと	ばらけた順位をならべる	今まで話したことの無い人でもそこそこ話しあえたと思う
50	無回答	無回答	みんな話して合えてよかった。自分と良く似た意見の子がいておどろいた。
51	他の人の意見が知れて良いと思う。	人それぞれの順位があるので、話し合いで決める事は難しいと思う。	無回答
52	話し合いがおもしろかった	たくさん人のいる中で人の話を聞くこと	特になし
53	しゃべったことの無い子としゃべったり、その子の意見を聞いたりできよかったです	特にありません	特にありません
54	個人個人の違いをおもしろいと思った	ない	他人の考え方も良いと思えばとりいれたい！
55	無回答	身内同士でいきなりディスカッションするのは辛い。一人で全く新しい誰も知らない場所ならできるが、もうすでにグループができている中で、また別々にグループに分かれてディスカッションすると、後々気まづくなる場合がある。	無回答
56	あまり知らない人としゃべることができて楽しかった	特になし	もう少し時間がほしい、1週目で話し合い、2週目で発表など
57	はじめて話す人との話すきっかけがなかなかつかめなかった	無回答	無回答
58	今まで話した事のない人と話す機会ができた。話し合いの中では、みんな積極的に発言できていて良かったと思う。	無回答	無回答
59	自分の意見だけにとらわれず他の人の意見も聞いて納得できるように話し合いが出来てよかった	なし	特になし
60	みんなの話を聞き、自分の話もできたことが面白かった	無回答	違う紙に書くこと全部書いてしまい、ネタがありません

平成 17 年 1 月 11 日感想

No.	講座全般に関する感想・意見	若年者支援に対する要望・意見
1		
2	自分の事について考えたり、ためになるセミナーなど楽しかったし、むずかしくもあった。	こういったセミナーは、働く事において大事だと思う。
3	一つ一つの講座はかなり役に立つと思ったけれども、時間が短いと思う。時間数がないので、どうにもならない事かもしれないが、一つをもっと深くやってほしい。	このような支援を多くやるべきだと思う。特に学生とフリーターには必要だと思う。
4	特になし。	なし
5	まあまあ。	とよよりも支援を！
6	ビジネスマナーを学ぶことができよかった。普段、自分がやり慣れていないので、身が引き締まってよかった。	若者にやる気の出るものを見つけてほしいと思う。
7	いろいろな事が学べて必要なことになったと思う	いろいろな場所でこのようなことをしてもいいと思った
8	就職のために面接とかで必要な能力や知識は多いけど、自己紹介とかではずかしがったり物おじしたりしないようにしたい。	無回答
9	今日は自己紹介で自分の長所・セールスポイントを考えることができませんでした。自分について話すことがこのように難しいとは、改めて自分を見つめ直す必要があると思います。ですが、今回の講座を少しでもいかしていきたいです。	無回答
10	自己紹介の大切さがよくわかった。	無回答
11	いろいろマナーが学べてよかった	無回答
12	自分の事をまだ見つめなおしていなかったため長所を考えるのが難しかったですよ。	無回答
13	やっぱり知っている人に私をアピールするのはとてもむずかしかったです。	無回答
14		
15	年明けで前回までの感覚を忘れておられた方が多いようだった。自己紹介の態度までを演じるよう書いたのは初めてでした。役に立つと思います。ありがとうございました。	無回答
16	ビジネスマナーという堅そうなイメージのあるものの中の根幹には基礎的で簡単なものがあり、意識することが重要だと思った。	無回答
17	お疲れ様でした。よく分かりました。	無回答
18	今の所、卒業後すぐに就職するかどうかを迷っているの、なかなか考えさせられるものがありました。	無回答
19	自己紹介を自分で考えてみんなの前で言うことは、思っていたよりもむずかしくて、なかなか、書くことができなかった。	フリーターは今もいいが、しょうらいはこわい。
20	姿勢とか敬語がとくいではないのでできてよかった。	無回答
21	グループワークがおもしろかった	ニートには活力、フリーターには道を。
22	とてもためになりました。参考にしてみたいです。	とてもいい場だと思います。もっと場をもうけてほしいです。
23	特になし。	僕ががんばって仕事・進路 etc こなしています。将来について真剣に考えるには、きっかけとなる何かが必要だと思います。私の場合は「あせり」でした。今の同世代には危機感が足りないのでは？
24	あいさつや謙譲語など普段使っているようで使っていないことが分かった。自己紹介などもう一度考え直す必要があると思った。	なんだかんだといい参考になった。これからも続けてほしいと思う。
25	皆、自己紹介ができないことに驚いた。	フリーター、ニート等働きたくなければそれでいいと思う。社会にうんぬん、親が言うからとか、そんなんで働くんやったら会社もいらんと思うし(逆に不利益を生むと思うから)、支援はもっと自分からするのを待つべきと考えたりします。

No.	講座全般に関する感想・意見	若年者支援に対する要望・意見
26	楽しかったです。コミュニケーションについて知らなかった事を知る事ができ、嬉しく思います。ありがとうございました。	これからもこういった講座は必要だと思います。ダルイとか思う人もでてくるでしょうが、かならず必要な事なので、つづけてほしいと思います。
27	自己紹介についての自分を見つけるのが一番苦勞する	フリーター、ニートという名前がだめ。(例:プー太郎、プー次郎)
28	自己紹介のしかたなど勉強になった	不況をなんとかしてください
29	今回は自分をアピールして発表するという事だったので、なかなか自分の事を相手に伝えるのは難しいということがよく分かったので、これからはもっと自分のことをうまく相手に伝えられるようにしたいと思う。	なし
30	色々学べて良かったです。	短い間だったけれど充実した時間を過ごせました。
31	自分の中でもそれなりに身になる内容だった。しかし、やはり自己の長所などは分からない。	書く授業は気持ち的に乗らないかも。
32	とてもやくにたつ事ばかりだった。	無回答
33	くだらん	1週間に1度(1時間30分)ぐらいでは無駄
34	相手によって言葉を使いわけること、どのように使えばいいか分かったのがよかった。	もう少し、若者の雇用を多くしてあげるといいのでは？
35	社会に出たらマナーを守りたいと思う。	特になし
36		
37	普通の授業でしないことをしたので、とまどいはあったけど、うけてよかったと思います。	無回答
38	自己紹介というのが結構難しいということが今日のことで分かりました。自分の考えや自分がどんな人間なのかというのは難しいと思います。自分の性格など自分では分からないところが多かったです。	全般的におもしろかったので、こういうのはどんどんしてもらいたいですね。おつかれさまでした。
39	自分というものを相手に伝える、自分は何がしたいのか？自分は何かを考えさせる時間でした。たかが1分でも自己紹介するには長い時間であると感じました。	無回答
40	自己紹介は自分のことを説明しなくてはならないので、難しいと思った。	無回答
	自己紹介は恥ずかしくてなかなか書けなかった。	無回答
41	自己紹介が難しいとわかった。これから考えていきたいと思った。	無回答
42	自分の長所を考えるのが難しかった。こういうことを考える機会がないので。	無回答
43	話し方が早くて何を言っているのか良く分からなかったです。頭の中で整理しながら聞いていると、話が進むのが早すぎてあきらめました。	アミューズメントパークみたいに楽しみながらどんな仕事があるのか、わかれば良いと思います。
44	知っていることが多かった	無回答
45	自己紹介が難しい事をあらためて感じたが、自分の事がよく分かっていい時間が過ごせたと思う。	この調子でがんばってください。
46	とても有難かった。今まで考えたことすらないことをたくさん学べた。	家族ぐるみの対策が必要だと思う。
47	色々な事ができ、学べたのでよかったです。	就職率低下の対策、社会に出るにあたっての知識を学べる場が欲しい。
48	席順を変更するのは好ましくありませんでした	やる気がある人かどうかを見極め、理由があってフリーターをやっている人に声をかけてあげてほしいですね。
49	自分を振り返ってみたり、コミュニケーションの仕方などふだんやりなれないことができてよかった。	このようなことはなかなか経験できないことなので、このようなきかいをもっとふやして行ってほしい。
50	今日の講座は今までの講座の中で一番わかりづらかったです	無回答
51	自己紹介といっても、いろいろな場合があるので書くのが難しかった。	無回答
52	アツイ	見下さない
53	マナーを覚えられたと思います。	特にないです。

No.	講座全般に関する感想・意見	若年者支援に対する要望・意見
54	今まで話した事もない人とトークができてよかった。	話して分かる事でもないと思います。フリーターやニートはそれを必要としている社会がある以上はなくなることはないと思います。
55	無回答	労働基準監督署等、労働者に対する権利をきちんとしてほしい。例えば有給20日があるのに、職場の雰囲気だとれない等、職場の無言の圧力を行政がどうにかしてほしい
56	時間があまりにも短い上にディスカッション等で話が長引くことがあるので、1ヶ月よりも半年に増やすべき。	この講座にかぎり、学内でフリーターやニートの人も受講できるようにすればいいと思う。
57	難しかった	無回答
58	難しいと思うが、もう少し少人数でのんびりできる方が良かったと思う。全体的な印象では考えるのは大変だったが、充実できる時間を過ごせたと思う。	無回答
59	自己認識は難しいことですが、最も必要なことだと感じました。普段の生活の中ではなかなか自分と他人の考え方の違いを理解しにくいですが、お互いが話すことで自分以外の他の人の考えを少しでも知る機会になったと思います。	ニート問題は深刻になってきていますが、どのようにしたら若者がやりがいを持って仕事に打ち込めるか、夢をかなえようとする意欲をおこせることができるのかを考えていかなければならないと思います。
60	・今回足が悪いため、立つのがとても苦でした。・考えることは、これからも役にたちそうで、とても楽しかったです。	無回答

キャリアプランニング研修の感想

大阪電気通信大学
就職部 就職課

1. 外部キャリア・コンサルタントに依頼して良かった点

本学の講義は座学が中心となっており、学生同士で議論をすることはほとんどありませんでした。そのため、今までの講義とは全く異なっており、学生にとっては新鮮であったと思います。聞いているだけの講義と実際に作業する講義では身に付き方が違います。その機会を与えていただいたことは大変よかったですと思います。講義の内容に関しましても、毎回設問を考えていただいたり、振り返りのアンケートを用意していただいたりと学生が自分で考え、参加する形をとっていただいたことはよかったですと思います。理工系の学生は人とのコミュニケーションをとることを苦手としているため、こういった講義形式は今後もできれば取り入れたいと思います。また、就職部としては就職活動を目前に控えた3年生を対象としましたので、時期的に大変よかったですと思います。自己分析のやり方など自分を見つめ直す機会をちょうどいいタイミングでいただいたと思います。自己分析などは就職活動、強いては今後のキャリアプランニングで大変重要なことなので、本来ならば最初の段階でじっくり対応したいのですが、それがままならないとなるとこういった講義は大変助かります。他大学でもあるとは思いますが、業務が増えていく一方で人員削減も進められ、外部に依頼する機会も増えました。そういった流れの中で、専門のコンサルタントに依頼することは安心感があると思います。今後は就職部で対応しきれないことは協力し、学生のために活用できればと思います。

2. 今後外部キャリア・コンサルタントに要望したい点

キャリア・コンサルタントのレベルを一定水準以上にしていただきたいです。どの方に依頼してもある程度のコンサルタントができるようにしていただきたいと思います。このように何回か連続して行う場合、途中でキャリア・コンサルタントが変わることもでてくると思います。その際、人によって内容が変わったり、やり方が変わったりしては困りますので、レベル的なところでの統一を図っていただきたいです。また、キャリア・コンサルタントの中でも専門分野を持っていただければと思います。若年者を対象にしたコンサルタントが得意であるとか、技術系を対象にしたコンサルタントが得意などと細かくわけていただけると的を射たキャリア・コンサルタントができるかと思いません。

3. キャリア・コンサルティングを勉強している立場で、外部キャリア・コンサルタントを導入したことにより、自分の業務上手助けになったこと

以前までは就職斡旋が主業務でしたが、最近では学生のキャリアプランや人生設計の領域まで踏み入らなければならないようになってきました。その際にキャリアに対する理解や学生に考えさせるスキルが就職課員にも必要となってきました。しかし、大学職員という立場では人事異動などを考えると専門的に育成することは困難なため、外部のキャリア・コンサルタントの方に指導していただくことは大変重要なことだと思います。私自身キャリア・コンサルティングについて勉強していますが、理論に裏づけされた指導方法は学生を納得させるものであり、外部講師といっても安心して学生指導を任せることができました。各大学の出口というだけでなく、ニートやフリーターを食い止める最後の砦ともいえる大学で専門的なキャリア・コンサルタントを導入し、一人でもニートやフリーターを減らすよう努力していかなくてはならない時代となっていると感じます。

4. その他感想

先にも述べたように本学では座学中心の講義であるため、どこまで学生が参加するか心配ではありました。しかし、実際始まってみると学生も積極的に参加し、アンケートを見ても好意的に受けて取っており、安心いたしました。学生を信頼し、こういった機会を与えることも重要だと痛感いたしました。フォロー講座の実施については、できればもっと早期に実施したかったです。学生への個別カウンセリングと就職部で実施している作業レベルの支援をもっとうまく連携させることができれば、より短期間で成果があがるのではないかと考えます。

今後は既卒学生への支援も課題となってきますので、学生←→社会人のいろいろな状況に対して、適切なキャリア形成支援が実施できるよう取り組んでいきたいと考えており、専門家としてのキャリア・コンサルタントに協力依頼する範囲が拡大されてくることと思います。

キャリアプランニング研修について（教員の感想）

教員	① 外部キャリア・コンサルタントに依頼して良かった点	② 今後外部キャリア・コンサルタントに要望したい点	③ その他自由感想
A教授	通常の授業とは全く異った、新鮮な内容の授業であったこと。講師の先生方の熱意が学生に伝わり、大多数の学生が真剣に授業に取り組んだこと。その結果、自己表現やコミュニケーションの重要性など多くを体験的に学べたこと。	今回の授業の前段として、より基本的なことであるが、敬語や謙譲語などの TPO(例えば入社試験の面接)における使い分け、礼儀作法の指導と実習なども取り入れてほしいと思った（時間数との兼ね合いもあると思いますが）。	この授業では、日頃の授業では熱心でない(むしろ不真面目な)学生が積極的に参加していた。専門科目の教育において比較的学力の低い学生にも興味を持続させるような授業の方法について考え直す必要があるのではと感じた。
B教授	就職の面接に必要な自己の性格の分析を学生自身に考えさせるために、多くの設問を準備され、学生に回答させ、互いに議論させることにより、深く考える動機を提供していただいた。	授業中に行っていたのだが、自己分析の結果を発言させる人数をさらに多くしていただけると、より真剣に自分の性格を分析すると思われる。	各自に考えさせ、発言させる方式で授業を進めておられたので、学生が興味をもって授業に参加していたように感じられた。
C助教授	概ね受講生に好感を持たれたことが感想文からも推察される。専任教員だけでは、従来型工学プレゼンテーションの域を出ず、習熟度やチームワークなどの問題により、今回程の満足度を達成できなかったかも知れない。	今回のような授業内容に加えて、学生が就職活動をする場合に必要となる礼儀作法についての実技の時間も設けて頂きたい。	授業参観中には、受講生の私語、居眠り、言葉遣いなどのことで、講師の方々に対して失礼がないかを常に心配していました。
D講師	就職活動に必要な話し方、振るまいなど、通常の授業では得られない社会常識を身に付ける導入として有効な授業であり、インタラクティブな授業スタイルが新鮮で学生に容易に受け入れられたことが良かったと思える。	今回の授業は導入として有効であるが、本来の目的を達成するためには不十分であると思われる。もっと多くの授業回数を設定してより効果的なプログラムにできればと思う。	最近の学生は特に、対人関係が苦手で、それが原因で何事もうまくできずに自信を失い、無気力になることが多いと思う。大学の授業の中でも、共同作業を多く取り入れ、人と付き合う機会を増やす努力が必要と感じる。
E講師	学生にとって新鮮でよかったのではないのでしょうか。今の学生は、自己認識力、自己発見力やコミュニケーション力に不足しておりますので、このような教育はこれから重要度を増すものと思います。	特にはありませんが、今の学生は将来設計力も不足しています。自分が今後何をしたいのか、何をすべきかわからない学生が多くいます。そのような学生に少しでも光を与えてあげられれば、ありがたいと思います。	普段、授業に集中できない学生が特に熱心に取り組んでくれたことが嬉しく思いました。

立教大学

1. 学校の概要

学校名	学校法人 立教学院 立教大学
区分	4年制大学（共学）
所在地	（池袋キャンパス）東京都豊島区西池袋3-34-1 （武蔵野新座キャンパス）埼玉県新座市北野1-2-26
設立年	1874年
設置学部	大学院：文学研究科・経済学研究科・理学研究科・社会学研究科・法学研究科・観光学研究科・コミュニティ福祉学研究科・ビジネスデザイン研究科・21世紀社会デザイン研究科・異文化コミュニケーション研究科・法務研究科 学部：文学部・経済学部・理学部・社会学部・法学部・観光学部・コミュニティ福祉学部・経営学部（2006年4月開設）・現代心理学部（2006年4月開設）
学生数	大学院：1,299名（男762名・女537名） 学部：14,874名（男7,502名・女7,372名） 平成17年10月1日現在

2. 学校の特徴（教育理念）

本学は、人間としての基本的あり方を問う教育を大切にしてきた。学生一人ひとりの個性を尊重し、社会人としての責任を学び、それぞれが出会った文化・社会を大切にしつつ、同時にそれらを越えうる国際性、異文化コミュニケーション能力を涵養する教育である。こうした教育は愛と正義を旨とするキリスト教精神と合致する。それゆえ、立教大学におけるキリスト教教育の理念は包括的人間教育を目的とするリベラルアーツといえる。

伝統的にリベラルアーツを体現する本学独自の試みは正課外教育であった。正課教育とは別に、チャプレンシーに支えられたチャプレン室主催「奥中山キャンプ」、学生部主催「林業体験」などのフィールドワークによって、学生が生命の現場に立ち会い、他者を思いやる心、協働する喜びを学んできた。

これらの背景が根拠となつてなしたのが、1997年から実施された新しい教養教育「全学共通カリキュラム」である。「専門性をもった教養人」を育てることを目標にしたこの試みは、大綱化をうけて解体した一般教育部に代わるものとして大学内外から高く評価され、他大学の新たな教養教育のモデルとなった。（現代GP「立教科目ー建学の精神から学ぶ科目展開」2005年度採択）

さらに現在は、これまでの学問領域を総点検し、既存学部・学科のリソースを再編することによって新たな「知」の枠組みを作ろうとする「立教大学アカデミックプラン」の2006年度実施が予定されている。そのねらいは、130年の歴史をもつ「立教らしさ」という特徴をより鮮明にして、本学に対する社会の期待に応えていこうということである。立教らしさとは、自由の気風を大事にすることである。立教が重視するこの

「自由」とは、権威に守られただけの、因襲的なものの見方から解放され、自分の意思と責任で判断し、行動していけるという自由である。自分自身を自らコントロールできるという自由である。

立教らしさのもうひとつの特徴は、自分以外の人、すなわち他者との協働（コラボレーション）により、自分自身の成長と社会の発展を実現していこうとする気概である。自分を活かし他者を活かすことにより、創造的な仕事ができる、つまり「協創」こそが大事だと知っていることである。本学は、これら本来の立教らしさをさらに強めるために、2つの新学部（「経営学部」および「現代心理学部」）を設置し、また既存の学部の中にも新学科（「交流文化学科」「コミュニティ政策学科」「経済政策学科」「メディア社会学科」）を設置するとともに文学部の一部学科を改編する。

「キリスト教に基づく教育」を建学の精神に掲げ、普遍的人間性の追求、社会や他者との協調・連帯・協働の重視、自由な知への果敢な挑戦を通じ、人類の平和と福祉に貢献するという本学の理念を追求して来た。

3. 学生に対するキャリア形成支援の考え

2002年4月に「就職部」から「キャリアセンター」へと名称を変更し、「就職対象学年への就職支援」から「入学から卒業までの4年間にわたる一貫した進路・就職支援（キャリア形成支援）」へと、所管機能を大きく向上させた。入学時から、「自分の一生、特にキャリア」と「大学で学ぶこと」を結びつける気づきのきっかけを提供しつつ、大学生活で自己のキャリアを自立してデザインできるような系統的なプログラムを展開している。（ここでキャリアとは、「経済的自立、社会貢献、自己実現をもたらすものとしての職業人生を目指す絶えざる試み」を意味する。）学生への直接的な進路・就職支援がキャリアセンターの中核的な業務であるが、その過程で得られる学生に関する情報と学生をとりまく情報を学部および関連部局に発信していく責務を負う。それらを通じて、学部と連携してキャリア教育の充実を図り、教学改善に貢献することも重要な使命として取り組んでいる。その結果、2005年度、全学的なキャリア教育を展開すべく「コオプ教育・インターンシップオフィス」を開設するに至った。

4. 学生に対するキャリア形成支援のこれまでの取り組みの概要

全体像と流れは添付資料1を参照。ここでは添付資料1の主な進路支援プログラムと就職支援プログラムの詳細説明を加える。

<進路支援の目標>入学時～3年次前期

充実した学生生活の先にある進路選択に際し、就職活動に至る前に、体験等を通して視野を広げ、自らのキャリアを自己決定できる学生の育成を支援することを目標とする。個々人が自立した人生を歩むためには、将来の選択肢の一つである「就職」が、キャリアにおいては大きな要素であることに気づかせ、学生生活と将来を関連付け、学びの意義を得られるような支援を行うことが必要である。

※ 立教非単位認定型のインターンシップは、アルバイト以外の就業体験のない学生が2週間程度の就業体験を通して、自己と社会の理解を深める極めて有効なプロ

グラムである。

- ※ 企業勉強会は「就業体験」とまではいかない、半日の「体感」に近いものではあるが、企業に赴き現場でしか感じ得ないものをそれなりに味わうことで、就業・将来への不安感が少なくない学生への有効なプログラムとなっている。
- ※ 2000年から開講しているキャリア科目授業「仕事と人生」は、毎年1、2年次生中心に1,000人近い学生が受講し、早期に自己と社会を結びつける気づきの効果を得ている。

進路プログラム

授業(キャリア関連科目)	現在の雇用をめぐる状況や多様化する働き方などについて学び、職業観を育成する。全学共通科目「仕事と人生」(1・2年次生中心 前期2単位)
新入生対象 キャリアガイダンス	①入学時から自分の将来・進路について考えることの必要性を知り、学ぶことに対する動機を高める。 ②キャリアセンターについて知る。
講演会	①学生部と共催。「Catch Your Dream～夢への挑戦」というテーマで、実社会で活躍している人の話を聞く。今年度は「自分の言葉で語る」。 ②「働くこと」「仕事」といった観点から、自分の人生をどのように生きていくのかを考える。今年度は「私の取材ノートから～伝えるということ～」。 ③「Let's キャリアスタートQ&A」キャリアカウンセラーによる講演会。新座にて開催。
働くステージを知る	様々な分野で実際に働いている人の話を聞く。今年度実施は「広告業界で働く」「テレビ・ラジオの現場で働く」「新聞・出版の現場で働く」「国家公務員として働く」「法曹として働く」「環境マインドを持って仕事に就こう」。
制度を知る	各種資格試験の制度を知ることが目的とするが、合格体験談や仕事内容についての話も聞く。今年度実施「公務員」「公認会計士」「社会福祉士・精神保健福祉士」「司法試験・ロースクール」。
企業勉強会	働く現場を自分の目で見ることにより、将来を考えるきっかけとする。主に夏季・秋季休暇中の1日に実施する。今年度実績13社 180名。
インターンシップ (非単位認定型)	主に夏季休業期間を利用し2週間の実習を行う。就業体験を通じて仕事や働き方に対する意識を養い、勉学へのモチベーションを高める。今年度実績80社・5自治体・5非営利団体 220名。

<進路支援プログラムの結果>

インターンシップは今年度、80社・5自治体・5非営利団体で実施した。参加学生数220名と、昨年度(68社・4自治体・2非営利団体、204名)よりも実施事業体を増やすとともに質の充実にも配慮した。「働く」という実体験を通して学生が自ら考え、判断・行動する力を身につけ、将来へのビジョンを描き、自らが働くこととはどのような意味を持つものかをじっくり考えること、また、体験前後の自分を振り返って成長を実感し、これをひとつの自信へと繋げることをねらいとするものであった。インターンシップ期間中も担当職員との連絡・報告・相談を密に行った。

企業勉強会は、決め手や確信のない将来や自分の進路を模索していくための入り口として、今年度は13社（180名）で行い、実際の企業選択へのアプローチとして行動化を促進することとなった。

上記のプログラム以外に、個々の学生に対して、就業への不安や就職活動の停滞なども含めてさまざまな個別の相談を丁寧に行った。

<就職支援プログラムの目標> 3年次後期～卒業

低学年からの進路支援を経て、3年次後期からスタートする就職支援では、さらに具体的な進路を、学生が主体的に一層幅広く柔軟な選択ができるような支援を行っていく。

就職プログラム

ガイダンス	3年次7月、10月、1月の3回実施。就職希望者の8割が出席。段階を追って、学生が自立した就職活動を行えるための情報提供、支援をする。
女子学生就職セミナー	約半数を占める女子学生のために、女子学生に特化した情報を提供し、男女の差別は未だ根強くあるという現実を踏まえ支援する。「女子学生就職ガイダンス」「立教大学OG座談会」
マスコミセミナー	超少数厳選採用の実態を知り、仕事を理解させる。「セミナー」「マスコミ内定者の集い」「マスコミOB・OG懇談会（放送・広告／新聞・出版）」「テレビ業界で働く」
実践セミナー	小グループを作り、自己分析やグループディスカッションなどを実際に体験したり、作業したりしながら、就職活動に必要なことを学ぶセミナー。
筆記試験対策	筆記試験を模擬体験し、弱点を知る。
マナー講座	基本的なビジネスマナーを身につける。手紙の書き方、メールの送り方、電話のかけ方、会社訪問・面接時のマナーを学ぶ。
業界研究セミナー	各業界の動向や具体的な仕事を理解する。
企業研究セミナー	企業の人事採用担当者によるマスを対象とする学内企業研究。
グループワーク （事前申し込み）	少人数でグループワークを行い自己分析や業界研究の方法について他者と共に他者を通して学ぶ。
公務員ガイダンス	公務員試験や仕事の内容、官庁訪問について知る。
福祉職セミナー	社会福祉に携わる仕事のガイダンス。
教職特別セミナー	教員採用試験についての概要を学ぶ。
外国人留学生就職ガイダンス	日本における就職活動の仕方、就労ビザの取得の仕方等について学ぶ。
ランチタイムミニガイダンス	新座キャンパスのオリジナル企画。昼休みを利用しミニガイダンスを開催。「キャリアセンター120%活用術+OB・OG訪問の仕方」「エントリーシートってどんなもの？+業界研究セミナー120%活用術」
OB・OGとの懇談会	現場で活躍している卒業生と交流し、仕事の実態を理解する。 ①「就職シンポジウム・懇親会」「商社・金融OB・OGによる勉強会」 ②卒業生組織RBC（立教ビジネスクリエーター塾）による「集団OB・OG訪問」（内定者組織キャリア塾とのコラボレーション企画）

内定者組織「キャリア塾」企画プログラム	4年生の内定者組織がキャリアセンターと協働で、自主的に様々な就職支援プログラムを企画。「何でも相談会」「観光学部生が体験した就活!!」「マスコミ志望者集まれ!!」「内定者100VS就活生100～描け!将来像!!～」「IT業界内定者と語り合う会」「コミ福。的就活」「¥金融まとめて相談会¥」「履歴書・ESをみてもらおう!」
ゼミ訪問	学生の要望に応じてゼミ単位で実施する少人数プログラム。キャリアセンター職員がゼミを訪問し就職活動についての話をしたり、質問に答える。
4年次未内定者向けプログラム	「学内合同企業研究セミナー」（4年次4月～9月までの各月2～3日開催） 「4年生向け就職ガイダンス～これからの就職活動～」 「4年生向け就活アドバイス&実践講座」「就職何でも相談会」「4年生向け模擬面接&グループワーク」「キャリア・コンサルタントによる就職活動ワークショップ」
大学院生向けガイダンス	「文系大学院生向けガイダンス」 「理系大学院生向けガイダンス」

<就職支援プログラムの結果>

近年の特徴としては、就職活動の早期化と早期離職問題があり、人生最初の就職という大きな転機において個々の学生をいかに丁寧にサポートできるのか、また企業の変化と人材のニーズをいかに読み取り、学生へ提供できるかということで、企業のOB・OGとのコラボレーションをより一層重視した新規企画を取り込んだ。とりわけ上記の就職プログラム中のOB・OGとの懇談会、さらに4年次生の内定者組織が自主的に作り上げた様々なプログラムなどの新企画は、より身近な先輩と接することができるということもあって好評であった。また、職員がゼミを訪問するゼミ訪問は、少人数で実施できることから効果も大きく、職員にとってもゼミからの要望が得られ、成果をあげた。

さらに、4年生の未内定者向けのガイダンスを始めとするプログラムは、昨年度本学で実施したキャリアコンサルティング導入・展開に係る試行的取り組み（厚生労働省委託事業）の成果を立教独自にアレンジして実施し、今年も結果を出すことが出来た。

また、2004年度は延べ6,773件の個別相談を行った。前年度から約800件強の大幅な増加である。この相談件数の増加は、キャリアセンターの多様なプログラム展開と職員（相談員）への信頼の現われと自負する反面、昨今の学生の特徴ともいえるのだが、マス対応のプログラムではどうしても拾いきれない個人の就職への不安の強さが年々その数を押し上げてきているともいえる。就職活動の早期化、長期化でストレスを抱え、自身の進路決定自体に不安を持ち、就職活動への意欲を喪失してしまう学生が増えてきたという状況もあげられる。また、今までの人生で自己決定体験の少ないことも学生の不安感を増大させているという深刻さも窺える。このような学生の増加現象が、就職部・キャリアセンターの職員に従来の単なる就職相談のみならず、いわゆるキャリアカウンセリングの能力が必要であると謳われるゆえんである。

<進路・就職支援プログラムの今後の課題>

本学では、各学生のキャリア形成の一環として、進路・就職支援・個別相談という

流れのなかで、多種多様なプログラムと仕組みを学生に提供している。しかし、どのような仕組みを提供しても、最終的なキャリア形成の選択と決断は、各学生一人ひとりの成長発達と体験、そしてニーズに対応するものであるということは否めない。

具体的には、下記の3項目が何らかの形で、学生に結果として現れることが望ましいのではないかと考える。

- (1) 学生が、体験を通して自己に気づき、可能性・能力を最大限に引き出すことが出来ること。
- (2) 学生が、他者との交流を通じ、自己を客観的に認識できること。
- (3) 学生が、自らの考えで判断・行動し、自己の生き方の中で自己実現を果たせるよう、今後のキャリア形成を思考し、言語化できること。

5. キャリア・コンサルタントを活用したキャリア形成支援の試行実施の内容

(1) 実施概要

ア. 企画背景

- ・ 上記4の<進路・就職支援プログラムの今後の課題>にある(1)～(3)の実証を試みる。
- ・ 個人差があるものの、総じて体験を言語化することが苦手な若者が多いのも昨今の特色で、とりわけ言語化が苦手な学生が、就職活動を停滞させてしまう傾向があるという現状を改善する必要がある。
- ・ 学生は「インターンシップを含めた様々な体験」をしてはいるが、その体験で得たことが、いわば表面的な事柄だけで終わっていることが見受けられる。
- ・ 採用試験での対応において「インターンシップを体験したことで企業への意欲や関心が高まりました」的な回答になり、そこには体験が自らの内的な気づきまで深まり、結果として言動の一致に至っていくという事がおこらない。これでは学生自身の体験と今後が繋がらない。
- ・ 「他者理解・自己理解の中で起きる自己矛盾をどのように整理し、自発的キャリア形成への言動へ繋げるか」、言い換えれば、「体験とキャリアの一致」を支援することの大きな手助けとなることをキャリア・コンサルタントへ期待した。

イ. 対象学生・目的

<対象学生>

- a) 立教型非単位認定インターンシップ(夏期休業期間中実施)に参加し、事前研修および事後研修(各3時間)に参加した3年生 60名
- b) 夏期休業期間中に開催された関東・関西3大学共同プログラム「ネクストリーダープロジェクト」に参加した1、2年生 10名

<企画目的>

- a) インターンシップに参加した3年生
 - ・ 今後の就職活動に向かう前のキャリアのベースに成りうる具体的な支援
- b) 「ネクストリーダースプロジェクト」に参加した1、2年生
 - ・ 今後の学生生活へとつなげるためのキャリア形成支援
- c) 共通到達目標
 - ・ 体験をより広げた視野で見ること、そして体験を言語化・行動化すること。
 - ・ 体験を今後のキャリア形成においてどのように生かすかを、他者を通じて他者の体験と照らし合わせ、具体的に考え、表現すること。
 - ・ 学生が自己理解を深めることを、キャリア・コンサルタントが教えるのではなく、インターンシップやリーダースプロジェクトを中心とした自分の体験について語る中で、自ら気づくこと。

ウ. 企画内容

<プログラムの目標と実施内容>

a) 目標

- ① 学生生活で体験した様々な事柄を思い起こし、少人数によるグループワークでそれらの体験を再度検証する。
体験を検証し、言語化する力をつける。
- ② 体験を他者へ伝わるように言語化する。同じような体験であっても他者と自己との視点・感覚に違いがあることを知り、体験をその事象で止まらせずにさらに視野を広げる。
- ③ その後に個別カウンセリングで今後のキャリア形成をいかに現実化するかを支援する。グループワークでの個人的な内的気づきから起こると想定される精神面における葛藤などのフォローを含む。

b) 実施内容

上記の目標に応じて全体を3つの期間（ターム）に分け、それぞれのタームごとに「体験のシェア」、「体験の拡大化」、「体験から自己実現へ」という内容とした。

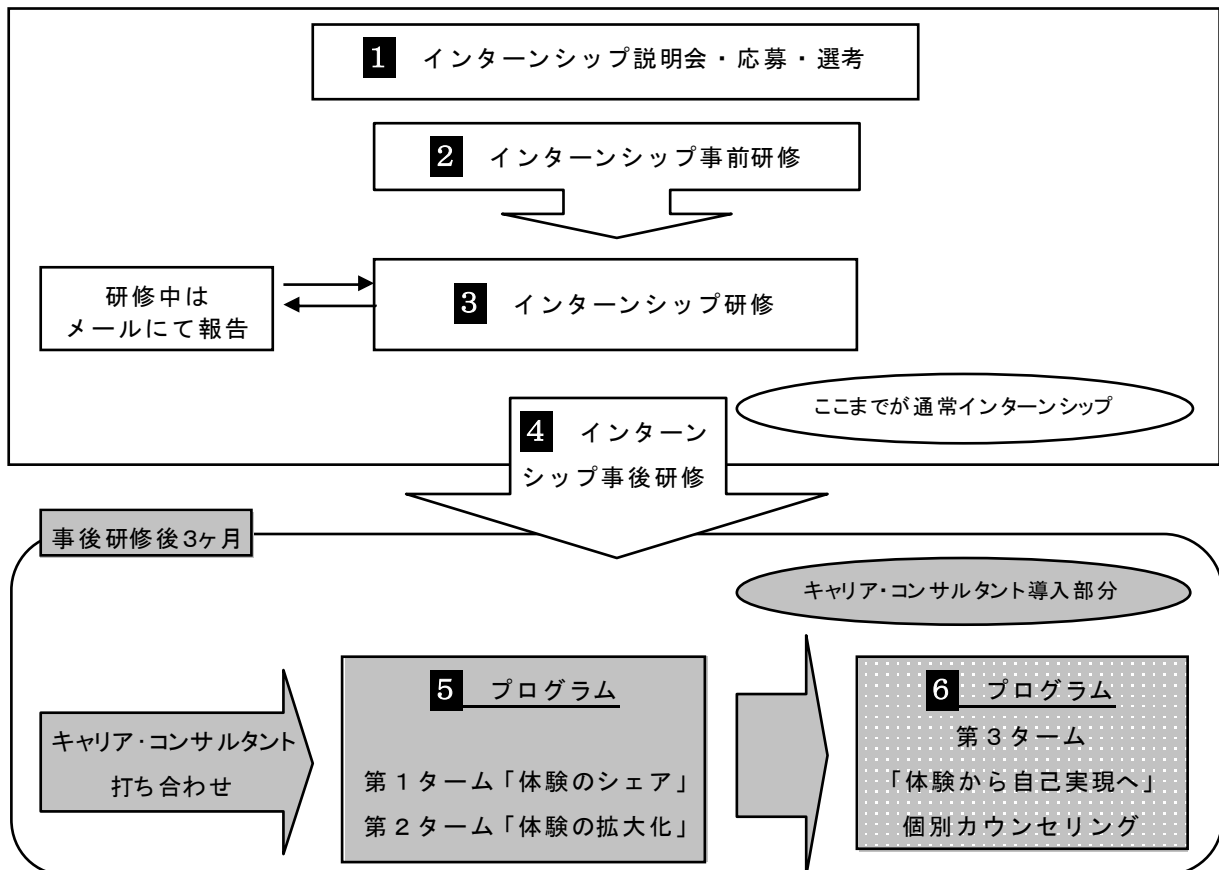
全体的な流れは下記〔図1〕に記載したものである。

なお、図中の**1**～**4**がこれまで実施されている内容である。また**5**、**6**が今回の企画の内容の部分であり、その詳細のプログラム内容は〔図2〕に示したものである。

〔図1〕

立教大学・インターンシップ・キャリア・コンサルタント導入プログラム

目的：夏季休業期間中のインターンシップを体験した学生が、今後の個人の将来に向けたキャリア形成意識を持つとともに、就職活動等の進路に向けての具体的な自己実現が行えるよう支援を行う。



プログラム内容

	<u>構成と流れ</u>	<u>進行上のポイント</u>
00:00	<p>【研修全体の目的】</p> <p>インターンシップで体験した事をベースとし、就活に活かせるように3タームでフォローアップを目指す</p> <p>第1ターム「体験のシェア」 第2ターム「体験の拡大化」 第3ターム「体験から自己実現へ(就職活動での活かし方)」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ファシリテーターの自己紹介、学生の自己紹介については、進めやすいタイミングで入れる ・第3タームのカウンセリングについて触れる
00:10	<p>第1ターム「体験のシェア」</p> <p>【セッションの目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 体験を通じて「感じた事」「気づいたこと」「学んだ事」を第三者に伝える事の難しさを知る ● 人それぞれに体験から感じる事、気づくことの違いを知る <p>【進め方】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各人持ち回りで「インターンシップでの体験から良かった事・楽しかった事・疑問に思ったこと・気づいたこと・発見した事・学んだ事・・・」を発表する 3分 2. 聞き手から一人、発表者の話を聞いた上で、代弁をする 3分 3. 感想交換 8分 <ul style="list-style-type: none"> ・当事者は代弁者の話を聞いてどう思ったか ・代弁者は当事者の感想を聞きどう思ったか ・オブザーブは双方の話を聞いてどう思ったか 4. 上記1～3を人数分繰り返す 3人・・・20分／1人 4人・・・15分／1人 	<ul style="list-style-type: none"> ・「体験のシェア」の目的を伝える ・板書可 ・1～2を説明した後に、1分くらいで個々に話の準備をさせる ・その後順番を決めさせてスタートする ・3～4のファシリテイトの時間配分や進め方はその場での対応とする ・3の感想交換では「他人に伝えた事が伝わっていない、ではどうしたら伝わるのか考える」「共感できる仲間を作れましたか」「思いのだけは伝わりましたか」・・・など問いかけながらセッションの目的を気づかせる
01:10	<ol style="list-style-type: none"> 5. セッションで気がついたことを各人ノートに書かせる <ul style="list-style-type: none"> ・自分が「伝えたかったこと」は何か、でも「伝わったこと」は何か・・・その違いはなぜ起きたのか <p>【まとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「話したこと」と「伝わったこと」には違いが生じる ● 「伝えたかったこと」をきちんと理解してもらうように表現する事は難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・5 1～4まで終了してから各人のまとめに入る ・「まとめ」はファシリテーターの言葉で実施する
01:30	<ul style="list-style-type: none"> ● インターンシップという体験でも人によって観る・気づく視点が違う、その視点をたくさん持つといい 	

構成と流れ

進行上のポイント

00:00

第2ターム「体験の拡大化」

【目的】

就職活動に向けて

- 自らの体験が応用できることを知る
- 自分の体験を表現する方法を知る

00:10

【進め方】

1. 体験をカテゴリーに分ける
「就活で皆さんはどんな体験を通じて自分を表現しますか」
2. まず、「インターンシップ」での体験談から体験以外の応用ジャンルを探索する
「皆さんがインターンシップで体験したことって、他の業界・会社でやれますか」
 - ・「インターンシップの体験や仲間の体験を聞いて自分で応用できそうなところ」を話させる
 - ・聞き手は話を聞きながら、話し手の体験が活きる場を考える
 - ・1人10分(4名の場合)くらいでメンバー全員で繰り返す
 - ・ポストイットでメモしてもいい
3. その他の体験を各人で出させる
「体験から自分らしさを伝えられますか」
 - ・カテゴリーごとに伝えたい体験内容を書かせる
 - ・一人ずつ簡単に体験談を話させる
 - ・感想交換「その人の体験から何が伝わってきましたか」
 - ・人の話を聞きながら自分にも言えることは追加していく

01:00

【まとめ】

- 体験から得た事は、それを活かすことを考えると汎用性・応用性のあるものである
- 体験から学んだ事を伝えるにはいろいろな表現の仕方がある

01:30

第3タームへのインフォメーションをする

- ・ 前回の感想交換を含める

- ・ 学生からカテゴリーを出させる
- ・ 体験カテゴリー(例)
「インターンシップ」「アルバイト」「クラブ・サークル活動」「ゼミ」「中学・高校時代」「ボランティア」「家族・家庭」「特技・趣味・スポーツ」「得意な学科・専門分野」「資格」「愛読書」など
- ・ 同じ体験を伝えるにも人それぞれ表現が違うことを押さえる

- ・ 3はポストイットで個々のカテゴリーに体験キーワードを記す
- * 1～2がメインなので、時間調整で全員やらなくても可とする
- * その場合は第3タームで個別対応することを伝える(宿題もあり)

- ・ トランスファラブルスキル

全体的な流れ〔図1〕に沿って簡単にプログラム内容について説明する。

1 インターンシップ説明会・応募・選考

インターンシップ説明会を2005年5月に開催し、本学におけるインターンシップについての考え方、分類、立教型インターンシップ実習先についての紹介および実習内容等についてのアナウンスを実施した。(500名参加)

続いて希望者は「志望理由書」を提出(310名)し、全員についてインターンシップ担当者が面接を実施してマッチングの上、220名の実習生を決定。

2 インターンシップ事前研修

実習生全員に対して3時間の事前研修を実施した。インターンシップに参加する目的の再確認と企業等へ行く場合の心構え、マナーについての研修を内容とした。

3 インターンシップ研修

各実習生のインターンシップ研修予定に従い参加。なお、期間中は大学に対してメールによる「日報」提出を義務付けて各実習生の活動について把握し、何か問題が発生した場合に備えることとした。

4 インターンシップ事後研修

実習生全員に対して3時間の事後研修を実施した。インターンシップに参加して感じたことのまとめ、他の実習生の感じたことの共有化と今後の大学生活にどう生かしてしていくのかについて自分なりに考えることを内容とした。

以上がこれまで実施している立教型インターンシップにおける内容である。

今回の企画では上記内容に加えて、目的に沿った内容のキャリア・コンサルタントを活用したプログラムを実施した。以下その内容である。

5 プログラム (第1タームおよび第2ターム)

①第1ターム (1グループ3～4名のグループワーク)

自分の体験を通して「感じたこと」「気づいたこと」「学んだこと」を第三者に伝えることの難しさを知るとともに、人それぞれに体験から感じること、気づくことの違いを知るために、次のセッションを実施した。

- i) 各参加者が持ち回りで、インターンシップやプロジェクトの体験でよかったこと、疑問に思ったこと、気づいたこと等について発表す

- る。
- ii) 聞き手側から1人、発表者の話を聞いた上で代弁する。
 - iii) 以上について実施したうえで、当事者は代弁者の話を聞いてどう思ったかといった感想交換をする。
 - iv) i) ~ iii) を参加者分繰り返す。
 - v) 上記セッションで気づいたことを各参加者がノートに記載し、自分が「伝えなかったこと」は何か、でも「伝わったこと」は何であったか、その違いはなぜ起きたのかについて考えることを実践する。

以上のセッションによって、「話したこと」と「伝わったこと」の違いを感じるということと、「伝えなかったこと」をきちんと理解してもらえるように表現することは難しいということを理解してもらった。

②第2ターム（1グループ3～4名のグループワーク）

今後の学生生活または就職活動に向けて自分の体験が応用できること、また、その体験を表現する方法について知るために、次のセッションを実施した。

- i) 自分の体験を表現する。
- ii) 上記体験から他の可能性を探索する。
- iii) 上記探索した結果を言語として表現する。

以上のセッションによって、体験から得たことは、それを活かすことを考えると汎用性・応用性のあるものであること、また、体験から学んだことを伝えるには、いろいろな表現の方法があることを理解してもらった。

6 プログラム（第3ターム 個別カウンセリング）

第3タームは、第1、2タームのグループワークを踏まえて、個人の体験から個人を表現する方法について、各個人の状況に応じた方法で個別カウンセリングを実施した。

(2) 実施結果

ア. 参加状況

- a) グループワークプログラム（第1タームおよび第2ターム）参加者

各ターム5日間×2ターム 両ターム参加者 57名

- b) 個別カウンセリングプログラム（第3ターム）参加者

6日間 参加者 61名

原則としてすべてのタームへの参加を義務付けたが、グループワークプログラムのうちの1回参加していれば、個別カウンセリングプログラムは参加可と

した。

イ. 参加者の感想（添付資料 2 参照）

a) グループワークプログラム（第 1 タームおよび第 2 ターム）参加者

学生の評価は良好である。具体的なアドバイスを受けることができた、自分の強みや価値観など自分では気づいていなかったものを気づかせてもらい視野が広がった、自分に自信を持てた、と感じていることがその主な理由としてあげられる。

主な感想としては、

「自分の中で、気づいていたけれど、逃げていたことに改めてちゃんと向き合おうと思いました。」

「自分の言葉で話す、伝えることのむずかしさと私の話し方に欠けていることに気付きました。」

「他の人が考えていることも、知れたことがよかった。より多くの価値観を増やし、視野を広げることができた。」

「自分のキャパシティーが広く見れるということがびっくりでした。」

「もっとたくさんの方の話を聞きたいと思いました。」

「事前に準備しておけることがあれば教えて欲しかった。」

「もう少しお互いがやり取りできる時間がもてればいいと思います。またどう改善すればいいか、今後取り組むべきことがうまくキャッチできる機会があればいいと思います。」

「具体的な改善点について指摘してもらえればと思います。」

というものがあつた。

b) 個別カウンセリングプログラム（第 3 ターム）参加者

学生の評価は良好である。その主な理由は、自分の相談事をしっかりと受け止めてくれていると学生が感じていること、自分の強みや価値観など自分ではなかなか気付かないものを気付かせてくれ、視野が広がった、自分に自信を持てたと感じる事ができたこと等があげられる。

主な感想としては

「個人的に聞いて欲しかったことや悩みを相談することができ、心がすっきりした。また自分が何を感じているのか言葉にすることで新しい発見がたくさんできたことで自分に自信を持って今後の学生生活が送れそうだと感じた。」

「自分の視点、自分のやり方という原点にもどって考えることができ、楽になった。背伸びせず、今の自分に合う企業に出会えたらいいと思えるようになりました。」

「自分自身のなかでの将来に対する迷いがいろいろな角度から質問してもらい、自分で考えなおすことによって消えたように思います。このままの自分を認めてもらえたことで、これから前向きに考えられると思います。」

「3回では少し短いので全5回だともっとよかったと思った。2、3月に再度自分を見直す機会があればいいと思った。」

というものがあつた。

その他個別カウンセリングは継続してほしいという声、もっと多くの学生が参加できるようにしてほしいという意見も数多く見受けられ、特に個別カウンセリングに対する評判の高さが伺えた。

6. 事例担当者の意見

(1) 企画担当者（スーパーバイザー）の所見

本学の学生のみならず、いくつかの大学の学生と接した体験から、就職問題の根っ子にある問題やキャリア形成の現状と課題を常々感じていたところ、機会を得て今回のプログラムを提案した。

教育現場の課題として、日本では、教育発達と個人のキャリア発達とを連動させた教育が行われてこなかったため、学生が大学から社会へアクセスする進路の最終決断時に、「大学を出た後の個人の人生」に対する曖昧さ故の不安感を増大させ、問題を先送りする傾向が多く見られると言わざるを得ない。

一方、学生の傾向として、就職活動や未知なる社会への不安と焦りから、疑問や感情に目を向ける余裕がなくなり、自らの内面に対峙し振り返る作業が難しい状況になっている。このような状況から、4年間の大学生活において、教育発達とキャリア発達の支援を年次進行で連動させる必要性を強く感じている。

さらに、就職後における早期離職者の相談の数多くを通じて感じることは、学生と同様、現在若者に起きていることは次のようなことなのだという実感を持っている。それはつまり、自己理解の薄さと自己肯定力の弱さの双方がもたらす結果としての、自身の志向を言語化・行動化することの難しさである。この解決の糸口のひとつが、大学4年間で年次進行型キャリア形成支援であり、具体的なプログラムの一つとして、今回のキャリア・コンサルタント導入事例が挙げられるだろう。学生が、ワークショップで交流しながら、キャリア・コンサルタントの有効な言葉掛けによって気づきへのアプローチを支援されたことは大変効果があつた。それは、キャリア・コンサルタント各人のモチベーションと豊富な体験からプログラムを多彩応用的に広げてくれたことによるものであることは、学生からの結果報告に現れている。

社会でのキャリア・コンサルタントの活躍の場は広がっていくであろうが、大学での導入は、キャリア・コンサルタント自身が学生のキャリア支援をどう捉えていくかという能動的な視点が、今後大学側から問われる大きな課題ではないだろうか。現象への対処療法でない支援策と視野、大学側への問題提起の力を持つということで、キャリア・コンサルタントの必要性が増大すると期待している。

(2) 事例担当者の所見

今回の目標設定のひとつが、インターンシップや日常の体験を単なる体験に終わらせることなく、自らのなかで深化し視野が広がることを期待し、さらに次の行動化へ繋がるように成長を促進すること、そして肝心なことは、そのプロセスで個々人の特性に合わせた言語化・行動化を試みることであつた。昨年のキャリア・コンサルタン

ト導入は主に4年生対象プログラムであったので、“就職できた”、というはつきりとした効果を得ることができたが、今回のような、1・2年生や3年生のインターンシップ体験後のキャリア・コンサルタント導入での効果測定は何をもって効果といえるのかが、今後の課題となろう。今回は、効果を計る一方法として、学生に対してプログラム後のアンケートを行ったので参考としてほしい（添付資料2参照）。

学生の感想に見られるように満足度は高い。第1ターム、第2タームでグループワークを行い、他者を鏡として、同じ体験をしても、もの見方が違うという気づきや伝えることの難しさなどを実感し、気づいた自分の課題を第3タームの個別カウンセリングでより個別な自己理解へと深めていき、更に今後の行動化を促すという一連の組み立てが効果をあげた。グループメンバーとコンサルタントを固定化したことが、グループの中における個別の学生の気づきと葛藤、さらに課題をコンサルタントが追うことができ、第3タームでは学生個人に密着した問題を扱うことが可能となり、1回きりのカウンセリングではあったが、学生の主訴を把握し、気づきを促し行動化につなげるという点で、学生も満足できたものであったのだろう。グループワークやカウンセリング単体でも効果があるが、グループワークと個別カウンセリングを組み合わせることで、体験からキャリア形成のコアである自己理解促進に一層効果があることがわかった。さらに、事例を通じて浮き彫りとなった課題は以下の点にあると考えている。

○大学とキャリア・コンサルタントとの連携

この企画に限った事ではないが、大学へキャリア・コンサルタントを導入する際の注意点として、大学とキャリア・コンサルタントの緊密な協力があってはじめて効果的なものとなるとうことである。特に、企画を進めるキャリア・コンサルタントは、事前に、これまでキャリアセンターが進めている諸企画、発行物などについて多くの知識を学んでおく必要がある。また、グループワークや個別カウンセリングを進めながら、キャリアセンターと個別具体的な対応方法について常に協議・検討していく必要があり、キャリアセンターと緊密に連携できるキャリア・コンサルタントが継続して取り組む必要がある。

○プログラム全体についてのスーパーバイザーの必要性

上述の大学とキャリア・コンサルタントとの連携の一部とも考えられるが、今後この企画を実際に大学で実施することになった場合には、「スーパーバイザー」の養成が必要となる。このスーパーバイザーには、大学側の要求や学生の特質、各キャリア・コンサルタントの資質等を総合的に判断してプログラム全体の企画・運営ができ、かつ大学側との、あるいはキャリア・コンサルタント同士の調整ができる能力が必要となる。キャリア・コンサルタントの中で、誰か特定の者がその役割を負ってもよいし、全く別に設定してもよい。条件としては、プログラム期間中常時その進行を見守れることと管理能力があることである。

今回は、本学にスーパーバイザーをできるキャリア・コンサルタントがいたため、あえて外部にスーパーバイザーを設定せずに行ったが、本務があり、常時プログラ

ムを見守ることが不可能だったため、結果としてこの点に関しては反省を要する。スーパーバイザーはその役割を明確にして、大学側にも職員のコーディネーターを置き、常に連絡を密にとって初めてプログラムが成り立つという確信を得た。

繰り返しになるが、大学への導入には、キャリア・コンサルタントのスーパーバイザーの養成が急がれる。

○大学側の問題、特に学生の参加数によるグループサイズに関する問題

授業期間中のプログラムであり、学生の時間調整は1グループ3名程度が限界であろうと思われたため、第1、2タームのグループワークは1グループ3～4名で構成した。しかし、当日の欠席者があって1グループが2名あるいは1名といったグループワークとして成立しないグループが若干見られた。欠席者があらかじめ判明していた場合には補欠からの繰上げの学生を参加させ、参加者に対しては無断欠席することのないように繰り返し連絡していたが、やはり病気による欠席が見られ、このような事態が生じてしまった。大学側としては、当日の無断欠席がないように指導するのは当然であるが、欠席者が出て影響を最小限にすることができるよう基本参加人数を1グループあたり5名程度で設定し、キャリア・コンサルタントと調整していく必要がある。

キャリアセンターでは、キャリア授業、体験プログラムをコアとし、グループワーク・個人相談を特色としています。

グループワークとは？

グループ構成員同士の働きかけ、相互作用を利用し、構成員の思考、態度、行動、感情に変化を起させることとともに、人間的成長を図ることを目的とした活動。

進路支援から就職支援への流れ

1・2年次 → 新入生対象進路支援ガイダンス「キャリアガイダンス」 → 各種進路支援プログラム
自分の生き方・将来について考え行動する時期

3年次 → 第1回就職ガイダンス(7月) → 第2回就職ガイダンス(10月) → 第3回就職ガイダンス(1月) → 就職支援プログラム(10月) → 就職ガイダンス(11月) → 就職支援プログラム(春2月中旬～3月上旬)

主な就職支援プログラム(2005年度実施)

学生生活の充実って?個人相談・就職	公務員ガイダンスシリーズ
授業「仕事と人生」	各種講演会
働くステージを知る	企業勉強会
制度を知る(各種資格試験)	

授業を通して培う職業意識

仕事と人生(位学共通カリキュラム総合B群)

2005年度 授業内容	(武蔵野新卒キャンパス)
第1回 問題提起	第1回 働くというこー問題提起
第2回 働くということ	第2回 就職の実態
第3回 就職の実態	第3回 企業が求める人材
第4回 組織と個人	第4回 これからの社会の 仕事(例)
第5回 ポワイトカラーのキャリア形成	第5回 多様な生き方①ジェンダー仕事
第6回 雇用市場と動向	第6回 多様な生き方②職業としてのNPO
第7回 男女雇用機会均等法の実態	第7回 多様な生き方③外資系企業で働く
第8回 正社員と非正社員の間	第8回 多様な生き方④キャリア開拓と経営
第9回 求める人材(1)	第9回 多様な生き方⑤転職とキャリア形成
第10回 求める人材(2)	第10回 多様な生き方⑥国際協力の現場で働く
第11回 キャリアを展く	第11回 総括討論
第12回 就職内定者の体験談・総括	(学生参加のハネルガイダンスセッション)

※ [正課授業] 全学共通カリキュラム(仕事と人生)
履修者対象は1～4年次であるが、履修者の7割が1・2年次生。

WEBで情報検索

立教大学就職情報ナビゲーション

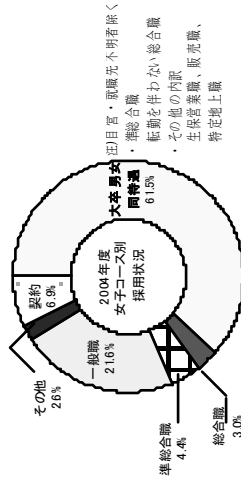
<http://www.rikkyo.ne.jp/grp/career/index.html>

立教大学独自の各プログラムの情報や「インターンシップ」情報などの最新情報が閲覧できます。またここから入れる「就職ナビゲーション」では企業からきた求人情報や卒業生の「アドバイザー」体験談など盛りだくさんの情報が閲覧できます。「就職ナビゲーション」は設定をすれば、自宅からでもWEBから(立教大学インフォ)を通してアクセスできますので、学生の就職活動をWEBからも徹底的にサポートします。

7割が男女同待遇でスタート。取かる女性の活躍フィールド

女子学生の就職支援

キャリアセンターでは女子学生向けに特別のセミナーを開発し積極的にバウアップしています。



進路・将来に向かって具体的に準備し、行動する時期

就職活動直前対策期

自己分析グループワーク	公務員セミナー
業界研究グループワーク	福祉職セミナー
模擬面接グループワーク	就職特別セミナー
立教オリジナル業界研究セミナー	一般常識・模擬適性検査
OB・OG懇談会	マナー講座
実践セミナー	女子学生セミナー
ランチタイムミニガイダンス	外国人留学生就職ガイダンス
内定者企画1「何でも相談会」	
内定者企画2「業界別：内定者と語る会」	
内定者企画3「内定者100VS 就活生100～掛け！将来像！！」	
内定者企画4「履歴書・エントリーシート講座」	
内定者企画5「学部別就職活動相談会」	

〈常〉

主な就職支援プログラム(2005年度実施)

とことん親身です！「個人相談」(進路・就職)

〈3年次秋〉

自己分析グループワーク	公務員セミナー
業界研究グループワーク	福祉職セミナー
模擬面接グループワーク	就職特別セミナー
立教オリジナル業界研究セミナー	一般常識・模擬適性検査
OB・OG懇談会	マナー講座
実践セミナー	女子学生セミナー
ランチタイムミニガイダンス	外国人留学生就職ガイダンス
内定者企画1「何でも相談会」	
内定者企画2「業界別：内定者と語る会」	
内定者企画3「内定者100VS 就活生100～掛け！将来像！！」	
内定者企画4「履歴書・エントリーシート講座」	
内定者企画5「学部別就職活動相談会」	

卒業生による就職シボゾム・懇親会

〈3年次春〉

企業研究セミナー

4年次 → 進路・就職相談 → 卒業

〈4年次秋〉

最後の最後まで！「個人相談」(進路・就職)

学内合同企業セミナー(複数回)
これからの就職活動対策ガイダンス
就職何でも相談会
模擬面接&グループワーク
就職活動ワークショップ

～4年生による就職支援展覧会～

「立教キャリア塾」ーピア相談

先輩から先輩へ

立教キャリア塾は、4年生約100名の企業内定者がボランティアとして組織化され自主的に活動しています。在学生の就職活動支援・卒業後のネットワーク作りを目的としています。キャリアセンターと協働で、各学部リーダーを中心に「組織」として活動しています。学生自らが後輩を支援し、かつ卒業後も連携していくという本学らしい流れを構築しています。

～卒業生が学び集う空間～

「立教ビジネスクリエーター塾」

卒業生から在校生へ

「立教ビジネスクリエーター塾」(略称立教RBC)は、「立教キャリア塾」を母体に、若手卒業生たちの勉強会として2004年4月より活動を開始しました。卒業後のキャリアアップ、立教のネットワーク、在校生への就職支援を目的として、キャリアセンターとビジネスデザイン研究科の後援の元、若手卒業生が事務局を担当。主に卒業生20～30代を対象とし、各勉強会のテーマに合わせて講師を招き、予約制で運営しています。毎月1回第3土曜日17:30から田町サテライトキャンパスにて行います。現在、登録している卒業生は300名。キャリアセンターは卒業生と大学の新しい関係作りを構築し、在学生に還元していきます。

		カウンセラタント所見	
学生A	今日のプログラムに参加してよかった点、自分で変わったと思える点がありますか？ またそれはどんな点ですか？	今	○柔軟で吸収力がある○論理的思考を好む○感情、情動に目を向けることは苦手かもしれない○考えを言語化することが得意○自分が明確になった
	第1	今	○ラツトで吸収力がある○他人の意見を言語化することが上手い○表情が若干控えめなので、もう少し少しいやうに刺激されたい○静穏なタイプだが、はつきりとした意見はあり
	第2	今	○とてもしっかりした○自由な発想とチャレンジの意欲があり、心配はいらない
学生B	第1	今	○人間関係を斜に構えて見たり、抱えたりするところが多い○表裏、一体彼の極めたい○他人の意識への興味、その中で自分の考えの合わせを楽しむ○少しいやうに集中力がある○良いムードの維持を心がけたい
	第2	今	○前回より落ち着いて、本プログラムを楽しむという気持ちが見られた○それぞれの体験やエピソードを冷静に見つめ、背景や状況を理解したい○姿勢が強まってきた○「色々な色んな気がある」といって話を聞かせる
	第3	今	○自分自身の内面に目を向けず、自分が感じることがらめになって悩んでいる○他人を観察し、分析しようとする時、好奇心により目が活きた○感情で思っていた○少人数で体系的に考えたい○相手の感情を察知し、分析しようとする時、相手が多様な人間性や友達の性格や友達について少し見えてくるものがある
学生C	第1	今	○素直で人間力を感ずる○反応が高い○社交性・行動力も高い○自分の意見を持っている○基礎的なポテンシャルが良く、思考力も高い○課題を掴み、深めた
	第2	今	○素直で人間力を感ずる○反応が高い○社交性・行動力も高い○自分の意見を持っている○基礎的なポテンシャルが良く、思考力も高い○課題を掴み、深めた
	第3	今	○素直で人間力を感ずる○反応が高い○社交性・行動力も高い○自分の意見を持っている○基礎的なポテンシャルが良く、思考力も高い○課題を掴み、深めた

		コンサルタント所見	
学生D	2年・法学部・男	<p>今日のプログラムに参加してよかった点、自分で変わったと思っ点がありますか？ またそれはどんな点ですか？</p> <p>第1 ○長期のインテンシブセッションで行った人と短期のインテンシブセッションで感じた人がそれぞれに客観的に見て指摘された差が大きいと感じた。内容、動作、コミュニケーションが良かった。</p> <p>第2 ○自分の経験から得たことを話す機会があり、自分の経験のなさを実感した。自分の視点と他人の視点の違いは未知の部分と認識させられた。色々と話すと話が大事であると思</p> <p>第3 ○今の自分のペースとして、次にステップアップするには目標をたて、やり遂げる達成感を得るという経験が必要であると感</p>	<p>○シャイやベリ方をする必要○考えをまとめて、元気のあ</p> <p>○辛抱強い点がある○少し積極的に発言できるようになった○自分の考え方や、世の中の出来事について整理できると良いと思う</p> <p>○今後の大きな方針は確立している○福祉関係の仕事を希望している○今後の活動が現実的・具体的に考えられるようになると期待している○恵まれた環境であることを踏まえ自分の職業観の確立</p> <p>○小さな会社でのインテンシブセッションでは、何でもやらねばならない点、お金の流れもわかりやすいという感想が、インテンシブ先の社員から大企業での反省点として、話がまとまらなくていいかといえ、インテンシブをダラダラしてきていた部分も理解している</p> <p>○大企業がいいと思うが迷っている→少し変化○自分はチームプレー、まとめるのが好きと気づいた→少し変化○ベンチャー会社も良いと思っているが、大企業でなくていいのではというところまで</p> <p>○答えを急ぐのではなく、自分らしく探せばよいこと○上昇志向が強い、努力家、結婚に左右されず一生働く○大企業かそれ以外かで悩んでいたが、経済・IT関係というキーワードが出てきた○まだ迷っているのかと聞いてきたが、じっくり考え迷っていいのだと解決していた</p> <p>○社会経験、気配りが必要・・等、抽象的な言葉が並び、会話のうちに自己理解ができていないことが判明し、自分が分らないからどうしようか行動がとれないバタッン○辛い状態でも、自分がかからないからどうしようか、どこから手をつけてよいかという質問があったので、今、足踏みして無駄ではないのでは無理に行動しなくていいかというアードバディと与えたところホッとさせた</p> <p>○自己分析がまだと理解した○本屋へ出向き、金融の本などを読むがモチベーションが上がらない○子供が好きだとわかっただけの子供業界へ行きたい、自分の場を開いていきたい○自分の知らない自分探し(メンター、モデレーター)を探す</p> <p>○インテナーシップに行ったメリットなし、自分がどうしているかわからない、自己から一歩が進めなない実直で、陰日なたたなく働く正直な学生○人と接する、子供、サツカー、教育がキーワード○バイトもせもしていない自分をどうアビールしたらいよいよか悩む、どんな仕事か決められない</p>
		<p>第1 ○自分がどういった人間なのか、どこを強味として押し出すか具体的になつてきた。○強味と弱味は裏一体なので、それをうまく使って自己PRしたいと思</p> <p>第2 ○自分がどういった人間なのか、どこを強味として押し出すか具体的になつてきた。○強味と弱味は裏一体なので、それをうまく使って自己PRしたいと思</p> <p>第3 ○今まで曖昧になつていた自己分析が、講師のアードバイスにより明確になつた○業界や企業研究も、あまり絞り込まずにやりたいことと選ぶ○選択肢が増えたがじっくり考えたい</p> <p>○職種を決め方には多くの方法があることを知れて良かった○自己分析をもっとしなればならないと感じた</p> <p>第1 ○自分が持っている長所(メンタル・スキル力など)を考えた時、まだまだ自己分析が必要であると気づかされた点が良かった</p> <p>第2 ○ただ自分が何をやりたか決まっていけないということを知って良に職種選択の幅、可能性が広がっているということを知って良かった</p>	<p>○今後の大きな方針は確立している○福祉関係の仕事を希望している○今後の活動が現実的・具体的に考えられるようになると期待している○恵まれた環境であることを踏まえ自分の職業観の確立</p> <p>○小さな会社でのインテンシブセッションでは、何でもやらねばならない点、お金の流れもわかりやすいという感想が、インテンシブ先の社員から大企業での反省点として、話がまとまらなくていいかといえ、インテンシブをダラダラしてきていた部分も理解している</p> <p>○大企業がいいと思うが迷っている→少し変化○自分はチームプレー、まとめるのが好きと気づいた→少し変化○ベンチャー会社も良いと思っているが、大企業でなくていいのではというところまで</p> <p>○答えを急ぐのではなく、自分らしく探せばよいこと○上昇志向が強い、努力家、結婚に左右されず一生働く○大企業かそれ以外かで悩んでいたが、経済・IT関係というキーワードが出てきた○まだ迷っているのかと聞いてきたが、じっくり考え迷っていいのだと解決していた</p> <p>○社会経験、気配りが必要・・等、抽象的な言葉が並び、会話のうちに自己理解ができていないことが判明し、自分が分らないからどうしようか行動がとれないバタッン○辛い状態でも、自分がかからないからどうしようか、どこから手をつけてよいかという質問があったので、今、足踏みして無駄ではないのでは無理に行動しなくていいかというアードバディと与えたところホッとさせた</p> <p>○自己分析がまだと理解した○本屋へ出向き、金融の本などを読むがモチベーションが上がらない○子供が好きだとわかっただけの子供業界へ行きたい、自分の場を開いていきたい○自分の知らない自分探し(メンター、モデレーター)を探す</p> <p>○インテナーシップに行ったメリットなし、自分がどうしているかわからない、自己から一歩が進めなない実直で、陰日なたたなく働く正直な学生○人と接する、子供、サツカー、教育がキーワード○バイトもせもしていない自分をどうアビールしたらいよいよか悩む、どんな仕事か決められない</p>
		<p>第1 ○自分がどういった人間なのか、どこを強味として押し出すか具体的になつてきた。○強味と弱味は裏一体なので、それをうまく使って自己PRしたいと思</p> <p>第2 ○自分がどういった人間なのか、どこを強味として押し出すか具体的になつてきた。○強味と弱味は裏一体なので、それをうまく使って自己PRしたいと思</p> <p>第3 ○今まで曖昧になつていた自己分析が、講師のアードバイスにより明確になつた○業界や企業研究も、あまり絞り込まずにやりたいことと選ぶ○選択肢が増えたがじっくり考えたい</p> <p>○職種を決め方には多くの方法があることを知れて良かった○自己分析をもっとしなればならないと感じた</p> <p>第1 ○自分が持っている長所(メンタル・スキル力など)を考えた時、まだまだ自己分析が必要であると気づかされた点が良かった</p> <p>第2 ○ただ自分が何をやりたか決まっていけないということを知って良に職種選択の幅、可能性が広がっているということを知って良かった</p>	<p>○今後の大きな方針は確立している○福祉関係の仕事を希望している○今後の活動が現実的・具体的に考えられるようになると期待している○恵まれた環境であることを踏まえ自分の職業観の確立</p> <p>○小さな会社でのインテンシブセッションでは、何でもやらねばならない点、お金の流れもわかりやすいという感想が、インテンシブ先の社員から大企業での反省点として、話がまとまらなくていいかといえ、インテンシブをダラダラしてきていた部分も理解している</p> <p>○大企業がいいと思うが迷っている→少し変化○自分はチームプレー、まとめるのが好きと気づいた→少し変化○ベンチャー会社も良いと思っているが、大企業でなくていいのではというところまで</p> <p>○答えを急ぐのではなく、自分らしく探せばよいこと○上昇志向が強い、努力家、結婚に左右されず一生働く○大企業かそれ以外かで悩んでいたが、経済・IT関係というキーワードが出てきた○まだ迷っているのかと聞いてきたが、じっくり考え迷っていいのだと解決していた</p> <p>○社会経験、気配りが必要・・等、抽象的な言葉が並び、会話のうちに自己理解ができていないことが判明し、自分が分らないからどうしようか行動がとれないバタッン○辛い状態でも、自分がかからないからどうしようか、どこから手をつけてよいかという質問があったので、今、足踏みして無駄ではないのでは無理に行動しなくていいかというアードバディと与えたところホッとさせた</p> <p>○自己分析がまだと理解した○本屋へ出向き、金融の本などを読むがモチベーションが上がらない○子供が好きだとわかっただけの子供業界へ行きたい、自分の場を開いていきたい○自分の知らない自分探し(メンター、モデレーター)を探す</p> <p>○インテナーシップに行ったメリットなし、自分がどうしているかわからない、自己から一歩が進めなない実直で、陰日なたたなく働く正直な学生○人と接する、子供、サツカー、教育がキーワード○バイトもせもしていない自分をどうアビールしたらいよいよか悩む、どんな仕事か決められない</p>
学生E	3年・経済学部・女		
学生F	3年・法学部・男		

		今日のプログラムに参加してよかった点、自分で変わったところ、自分がありませんか？ またそれはどんな点ですか？	コンサルタント所見
学生J	3年・経済学部・女	チーム 第1	○聡明で理解力に富んでいる○シンプルに整理する傾向があるので、エピソード等を意識することにより良くなると思う○最初から積極的で、終了まで持続していた○具体的な話を取り入れてくれる効果は本人にとっても高いと思う
		第2	○吸収力が高いので、短時間で以上の上の効果がでる○次の個別面談でももう少し表現について伝えようと思う
		第3	○ビジョンがはっきりしていて、自分のことともよくわかっていると思う○将来的な働き方を情報で迷っている○色々な働き方があると思う○良い訪問することを勧めた
学生K	3年・法学部・女	第1	○他の学生に比べて、自分を過小評価している印象を受けた○自信をつけるような方向性を持っていきたい○開始後は他の参加者に圧倒されたようでも、大人数しかいなかった○方向性を模索している状態で見えるので、どれだけ具体的に広げられるか握めるように進めた
		第2	○自己評価が低いので、他者評価によって自信を回復した○最初は少し緊張していたが、時間が経つにつれて自己主張できるようになった○自己分析をもう少し深めるよう話をした上で方向性が少し見えようになり計画を立てられると思う
		第3	○グループワークの時に一人の時間がはつきりしていている印象○周囲の個性が強い自分への自信を持って話した○総合的職業情報に触れることで改善される可能性を話し、安心した様子だった○吸収力は高いが、面接訓練、特にグループディスカッションの練習は必要であると思われ
学生L	3年・経済学部・男	第1	○自分が相手に伝えたい内容と、相手に理解されている内容のギャップに気付いた○話し方の大切さを実感した
		第2	○今回はあまり参加して良かった点、変わったところ、変わった点はない○インターンシップの役割がどうあるのか、アドバイスの点はない
		第3	○素直に自分を振り返ることが出来た点が良かった○見落としがちなところを気づいた

		コンサルタント所見	
学生S	3年・法学部・女	今日のプログラムに参加してよかった点、自分で変わったと思 う点がありますか？ またそれはどんな点ですか？	○就職について短・長期二つの視点を持つている○「結婚退職」「退職後は 単なる仕事」など他の学生と違う就職観がある○表面的なことしか見ない部 分もある○就活の雰囲気を中心とした○ある意味素直で、そこも長所だ と思おうので、その純粋さから他の学生が何を感じてくれているのか楽し み
	第1	○自分の評価する自分の印象は頼りにならないことになり、話の ○自分の伝えた内容を聞いてもらえない話の、ノートの重要 な状態を伝えるに相手に話を引き込めたい	○本学生の自分の行動でできるところ○積極的に対人関係を作っているところや、相手と自分 の考えや安定した関係でいたい、穏やかな関係が求めている様子だった○人に対し する細やかな目や「自分」を見つけたよくなるので、理想の環境は何かを深めたい
	第2	○自分の経験を話し、質問をしたら、質問を受けたら、話を進めようと思 う	○未だ思いや希望を整理しきれない状態○精神的にはタフであることと自認 し、目標を持って進む性格であること、どんな状況でも諦めず頑張るという思 いがある○対人関係が重要でface to faceの職場が絶対という思 言時のポイントがわかると安心した様子
	第3	○自分の話し方や印象を聞くことができて、すごく参考になった ○自分の話し方や印象を聞くことができて、すごく参考になった	○自立したいという熱意が強く、前向きに取り組んでいる○志望進路が明確で あるが故に、上手にいろいろな新しい○新しい気づきや発見を獲得し続けるよ うに
学生T	3年・経済学部・女	○自分の新しいことに挑戦したいこと、自分の強さを伝えること、 ○自分の新しいことに挑戦したいこと、自分の強さを伝えること、	○話好きだが、本人も認識しているように、論点を押さえて構成を考 えては志望に向かず、思い通りに組み立てる○欠点は改善されたい○今 までの意欲も一定レベルを維持する○今後は1対1で進め、全体的 な意味での取り組みを深化させる○第2
	第1	○自分の新しいことに挑戦したいこと、自分の強さを伝えること、 ○自分の新しいことに挑戦したいこと、自分の強さを伝えること、	○話好きだが、本人も認識しているように、論点を押さえて構成を考 えては志望に向かず、思い通りに組み立てる○欠点は改善されたい○今 までの意欲も一定レベルを維持する○今後は1対1で進め、全体的 な意味での取り組みを深化させる○第2
	第2	○自分の新しいことに挑戦したいこと、自分の強さを伝えること、 ○自分の新しいことに挑戦したいこと、自分の強さを伝えること、	○話好きだが、本人も認識しているように、論点を押さえて構成を考 えては志望に向かず、思い通りに組み立てる○欠点は改善されたい○今 までの意欲も一定レベルを維持する○今後は1対1で進め、全体的 な意味での取り組みを深化させる○第2
	第3	○自分の新しいことに挑戦したいこと、自分の強さを伝えること、 ○自分の新しいことに挑戦したいこと、自分の強さを伝えること、	○話好きだが、本人も認識しているように、論点を押さえて構成を考 えては志望に向かず、思い通りに組み立てる○欠点は改善されたい○今 までの意欲も一定レベルを維持する○今後は1対1で進め、全体的 な意味での取り組みを深化させる○第2

地域におけるキャリア・コンサルティング導入・展開に係る事例

若者に対する個別相談支援（あだちヤングジョブセンター） ……	155
ニート状況にある若者の保護者を対象とした個別相談・情報提供及び 保護者セミナー・親子セミナー（あだちヤングジョブセンター） ……	167
親と子の「キャリア」を考えるワークショップ（湘北短期大学） ……	187

あだちヤングジョブセンター

NPO法人夢のデザイン塾

1. 事例名

あだちヤングジョブセンターにおける「若年者のキャリア・カウンセリング」

2. 目的

若年者のフリーターや失業者が増加している背景に、若年者の就業・雇用をめぐる環境の激変があることは異論がないと思われる。また、若者の職業に就くこと、働くことに対する意識が変わってきており、「自分に合わない仕事ならしたくない」「あまり頑張らなくて済むのにのんびり暮らしたい」と思っている若者も増えている。このような状況下では、若者たちが、働くことの意味を十分に考え、職業社会を理解し、長期的な人生設計のもとで、自らの働き方を選択する力を養うことが重要な社会的課題となっている。

現在、学校教育の現場で、学生・生徒に対するキャリア教育の必要性・重要性が認識されるようになってきており、それぞれの取り組みが進められているが、若者に対する支援は学校だけでなく、卒業後に職に就けなかったが働きたいと考え始めた者、職には就いたがしっくりせず新たな職を求めている者、自分の生き方に悩んでいる者等が、いつでも気軽に相談できる地域での相談支援が重要である。

当事例は、これら自らの生き方、キャリアの問題に悩む若者を広く対象として、地域において相談支援することを目的としている。

3. 対象者・実施場所

実施場所：東京都足立区の若年者就労支援施設「あだちヤングジョブセンター」

東京都足立区千住3丁目59番地

対象者：就職やキャリア形成の問題に悩み、自らの意志であだちヤングジョブセンター（以下「あだちYJC」と略す）に来所した若年者。

4. 実施主体・相談支援体制

相談業務は、「NPO法人夢のデザイン塾」が担当した。

相談体制は、あだちYJC開館日である火曜日から土曜日まで毎週5日間、13時から17時（曜日によっては18時まで）にカウンセラーを1名配置し、希望する若年者等に対してカウンセリングを行った。また、カウンセラーに対し、必要時に適切な指導・助言が行えるようにスーパーバイザーを配置した。

なお、電話によるカウンセリング予約受付ならびに来所者のキャリア・カウンセリングへの誘導は、あだちYJCのスタッフ（NPO「育て上げ」ネット、NPO青少年自立援助センター等）に協力をいただいた。

5. 相談支援者

NPO法人夢のデザイン塾では、提供するサービスの品質・品性を守るため、「志を

もった専門家集団」を基本方針とし、一定の条件を満たすカウンセラーを登用している。当事例に関わるカウンセラーには、若者支援に対する基本的な姿勢・態度として次のことを求めている（カウンセラーとしての要件）。

○ 行動原則：若者が肯定的な自己概念を形成できるように支援する

- (1) カウンセラー自身が、関係する人々との良好な関係を構築すること
 - ・ 若者とのラポールがとれること
 - ・ メンバー同士のベクトルを合わせること
 - ・ 夢のデザイン塾の事務局・スーパーバイザーと意思疎通を図ること
 - ・ あだちYJCスタッフと信頼関係を構築すること
 - ・ 委託元である足立区産業経済部との意思疎通を図ること
 - ・ その他キャリア・コンサルティングに係る専門家との連携を図ること
- (2) 若者一人ひとりの本質的輝きを引き出すために、カウンセラー自身が自分の本質を自覚し、率直に本質に生きる姿を示すこと
- (3) 若者に質の高いキャリア・コンサルティングサービスを提供するために、知識・スキルを高めていくこと
 - ・ キャリア・コンサルティングの体系的学習
 - ・ 地域における雇用環境、職業能力開発等に関して、積極的に情報を得て、カウンセラー間で共有する努力を怠らないこと

○ 専門性

多様な若者のニーズに応えるために、上記の行動原則をふまえた上で、豊富な職業経験を有し、従来からカウンセリングに関する学習を継続して行うなど自己研鑽に取り組んでいることを登用条件とした。

具体的には、大手企業の技術者、工場長、自動車販売会社取締役等の経験者、また現役の大学薬学部教授、職業能力開発機関管理職、企業内キャリアカウンセラー、エンジニア、労働組合スタッフ、電話相談カウンセラーなど計11名を登用した。

また、スーパーバイザーとしては、豊富な臨床経験をもつ臨床心理士・シニア産業カウンセラー有資格者を配置し、事例検討を行った。

6. 実施結果

実施結果（平成17年6月～12月）の概要は、次のとおりである。

(1) 来談者数の属性

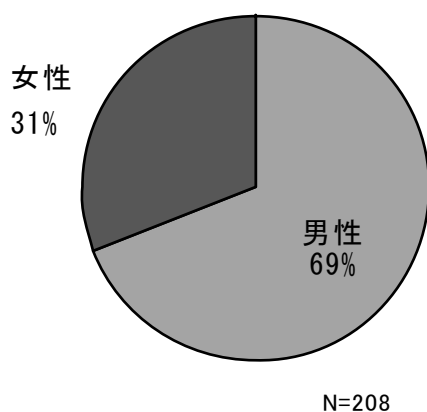
来談者を性別で見ると、男性が69%、女性が31%で、約70%が男性である。

年齢別では10歳代が3%、20歳代前半が40%、20歳代後半が38%、30歳代前半が13%、30歳代後半が4%、その他が2%となっており、20歳代が約80%を占めている。

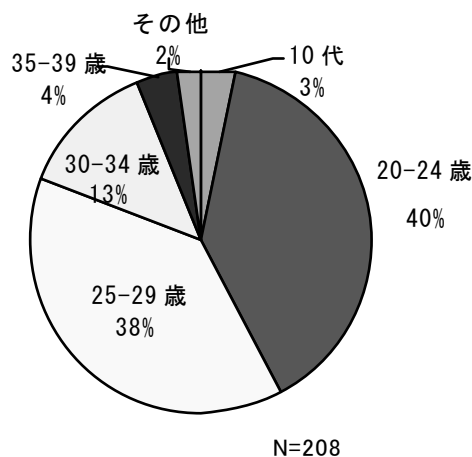
また、居住地別に見ると、あだちYJCがある足立区からの来談者が46%、足立区

以外の都内からの来談者が26%、東京都以外からの来談者が27%となっており、足立区以外からの来談者数が、足立区内の来談者数を上回っていた。

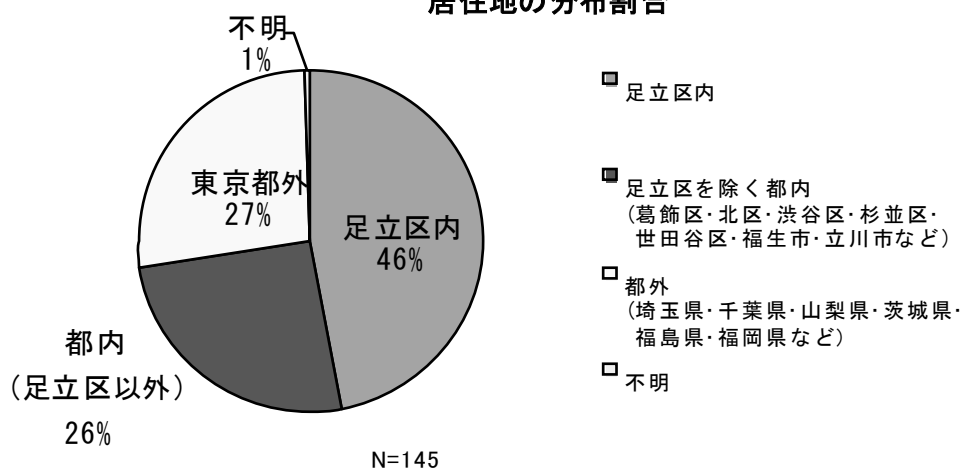
性別の比率



年代別割合



居住地の分布割合



(2) 来談者の主な相談内容

①属性ごとの相談特徴

相談内容は、来談者の属性、とりわけ現在の立場によって異なっている。それぞれの立場での主な相談傾向については、次のとおりである。

- 在学中の者及び新卒者の相談内容としては、「自分に向いている仕事が見つからない」、「就職を決める時期が迫っているので焦っている、就職が決まらないかもしれない不安がある」、「進学するか就職するかの選択悩んでいる」、「コミュニケーションのとり方が分からない」、「就職するための面接対策を教えて欲しい」等、学生から社会人へ移行するに当たっての悩み、初めて経験する

就職に向けての相談が多い。

- 在職者で転職を希望する者については、「自分の好きな仕事に就くにはどうしたらよいか」、「自分の適性を知りたい」、「職場の人間関係がうまくいかない」、「リストラで傷ついている」等、職業を経験したが改めて自分に合った職業を探したいとの相談、職場内での人間関係を含めた悩みの相談が多い。
- 現在アルバイトなど非正社員として働いている者は、「やりたいことがわからない」、「正社員になりたい」、「自立したい」、「やる気がでない」、「将来への不安」等、将来に向けてこのままではいけないといった不安を抱えていることが見て取れる。
- 親からの相談としては、「子どもの将来について」、「子どもの現状について」、「子どもへの対応について」等、子どもの将来に向けての不安や心配の相談となっている。

上記からもわかるように、在学中又は新卒者、在職者、フリーター、子どもの悩みを抱える親など幅広い層からの相談があり、これらの幅広い層の者がいつでも気軽に相談できるところに、地域におけるキャリア・カウンセリングの意義があると思われる。

②テーマ別の分類

さらに、相談内容を、テーマ別に分類してまとめた結果は、下表のとおりである。

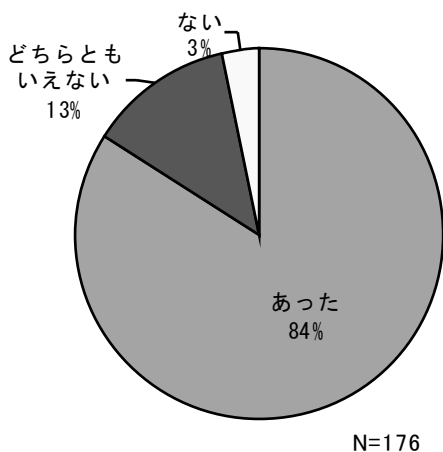
一番多いのは、『就職に向けたアドバイス』が34%で、履歴書・職務経歴書の作成のしかたや面接対策など、具体的な就職活動のスキルを身につけたいというニーズが高い。 ついで、『自己理解の援助』が22%を占める。「やりたいことがわからない」「自分の長所や強みが浮かばない」等と訴える若者に、職業ハンドブックOHB YやVPI等のツールを活用しながら、肯定的な自己概念が形成できるようサポートした。僅差で『職場選択と研究』(21%)が続く。「自分の興味や適性に合う仕事はどんなものがあるか」「やりたい仕事に就くにはどうすればいいか」等の相談に応じた。

相談テーマ (複数回答)	件数	割合
1: 自己理解の援助	92	22%
2: 職場選択と研究	89	21%
3: 就職に向けたアドバイス	144	34%
4: 職業能力向上・資格取得のアドバイス	17	4%
5: 心身の問題	17	4%
6: 人間関係の問題 (職場・友人等・家族)	24	6%
7: 生き方の問題	23	5%
8: その他	15	4%
合計	N=421	100%

(3) 来談者へのアンケート結果

カウンセリング終了後、了解を得られた来談者にアンケートへの記入を依頼した。アンケートはQ1～Q5の5つの質問で構成し、その結果の概要は次のとおりである。

Q1：カウンセリングを受けて新たな気づきを得られたか。



「気づきがあった」が84%、「どちらともいえない」が13%、「ない」が3%であり、キャリア・カウンセリング後に80%を超える者から新たな気づきがあったとの回答を得た。

具体的にどのような気づきを得られたのか、主なものを列記する。

① 自己評価が否定的だったことに気がついた

- ・ 前の職場にもキャリアがあった
- ・ 自分自身のイメージと他者からのイメージが違うことに気づいた
- ・ ネガティブなイメージにとらわれていた
- ・ 自分を客観的に見れるようになった
- ・ 今の自分を深く理解することができた
- ・ やりたいこと、やりたくないことを整理し、やりたくないことの見方を変えてみるのが大切だとわかった。
- ・ 自分を知る方法がわかった
- ・ 自分の温かみは自分の宝だ
- ・ 自分のことを褒めていいのだということがわかった
- ・ 職業選択では人と比べるのではなく、自分の内面を大切にすること
- ・ 自分の心の感じ方に癖があり、それが感じ方に影響している
- ・ 自分を責めすぎていた
- ・ 自信がもてなかったが、今のままでよい部分と変えた方がよい部分が明確になった
- ・ 自分らしく生きること

② 自分に不足していることに気がついた

- ・ 自分の弱さ、甘さがわかった

- ・ 今まで自分の都合のいいように考えていた
- ・ 決断力が低かったことがわかった
- ・ 自分の足りないことがわかった
- ・ 思い切って挑戦していくこと
- ・ 自発的に行動することが大事
- ・ 現状のままでは何も変わらない
- ・ とにかく動いてみるしかない

③働くこと・就職活動への不安が軽くなった

- ・ 仕事に対して明るく考えられるようになった
- ・ 自分の働き方が見直せた
- ・ 自分の仕事だけが厳しいわけではない
- ・ 仕事を探すには自分の価値観を大切にする
- ・ わからないことはやってみないとわからない
- ・ 自分に余裕を残すこと
- ・ 今、自分にできる範囲のことを頑張ること
- ・ 面接を受ける人の心境はみな同じなんだ。自分だけ不安なのではない。
- ・ 面接の失敗理由がわかった気がする
- ・ 面接の具体的なイメージ・ポイントが掴めた

④やりたいことが見えてきた

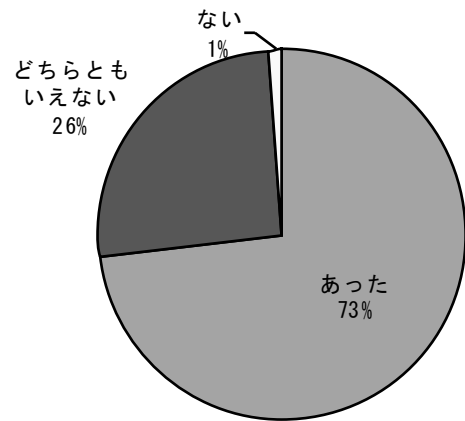
- ・ 選択の幅が広がった
- ・ 好きな仕事で能力を向上させることで可能性が広がりそうな気がしてきた
- ・ これからのことがみつかった
- ・ やれる仕事が絞れてきた
- ・ やってみたいことが具体的になった
- ・ 自分のしたいことに優先順位がつけられた

⑤人に話すことの効果を実感した

- ・ 自分の葛藤が消えてきた
- ・ 自分のしたいことがみえてきて、やる気が出て楽しい気分になった
- ・ ずっと思っていたことを聴いてもらえた
- ・ 今後の方向がなんとなくみえてきた
- ・ 自分の中のモヤモヤが晴れた
- ・ 家族のことばかり話してしまった
- ・ 夢中でお話させていただいてしまいました
- ・ プロのカウンセラーはすごい！

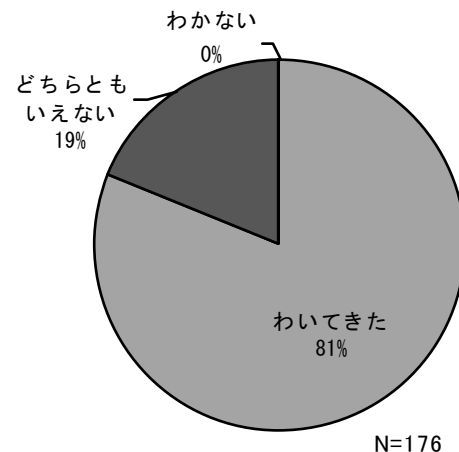
Q 2 : これから先のイメージについて得ることがあったか

これから先のイメージについて「得ることがあった」が73%、「どちらともいえない」が26%、「ない」が1%という回答だった。Q 1では、84%の者が「キャリア・カウンセリングによって新たな気づきがあった」としているが、皆がすぐに具体的な目標や行動イメージが描けるわけではない。継続したサポートが必要であろう。



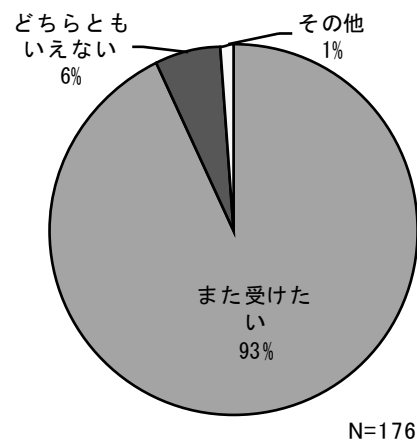
Q 3 : これからに向けて意欲がわいてきたか

「意欲がわいてきた」が81%、「どちらともいえない」が19%、「わからない」が0%であり、8割を超える者が意欲がわいてきたとしている。



Q 4 : 機会があったら、またキャリア・カウンセリングを受けたいと思うか

「また受けたい」が93%、「どちらともいえない」が6%、「その他」が1%であり、9割を超える者が継続した相談を希望している。



Q 5 : 今日からできそうなこと、やろうと思っていることは何か

カウンセリングでの気づきを行動にむすびつけるねらいとして、「今日からできそうなこと、やろうと思っていることは何か」という記述式の設問を設定した。

以下は、主な回答を、内容別にまとめた結果である。

①自己理解を深める

- ・ 自分のことをもっと考えてみたい
- ・ 他者に自分のことを聞いてみたい
- ・ 自分の興味分野を調べてみる
- ・ もう一度自分をいろいろな角度から見直す
- ・ 自分のできたことを素直に認める
- ・ まずは現状を受け入れてみる
- ・ 自分の長所をみつけて伸ばしたい
- ・ 自分が何が出来、何が武器になるか改めて考えてみる
- ・ その日に出来たこと、良かったことをメモする
- ・ 自分の癖を知って、それをうまく生かす方法をみつける。

②職業に就くための資格・能力を高める

- ・ 資格取得に向けての勉強
- ・ パソコンスキルを修得する
- ・ 興味ある職業について調べる
- ・ 資格職業について調べる

③具体的に求職活動を行う

- ・ 6ヶ月後の就職に向けてのプランづくり
- ・ 積極的に求人探しをする
- ・ 具体的に仕事探しに動いてみる
- ・ 会社訪問やセミナーに積極的に出てみたい
- ・ ハローワークで仕事を探す
- ・ パソコンを使って職業を検索する
- ・ 会社とコンタクトをとってみる
- ・ 人材派遣会社を利用してみる
- ・ 応募書類の書き直し

④その他

- ・ 心の余裕をもてるアルバイトを探す
- ・ ボランティアなどに参加する
- ・ とりあえず一歩前に！

7 実施結果に対する事例執筆者の意見

(1) 地域におけるキャリア形成支援の意義

あだちYJCに來談した若者たちは、前項6実施結果で記述したように、様々な状況にあり、相談ニーズも多様であるが、そのほとんどが安定して働きたいという意欲を持っている。

こうした若者は大きく分けて、次のふたつに大別されるようである。

- ①【なんらかの組織に所属しているが、組織に頼れない若者】
- ②【組織から離れた若者】

①では、「派遣社員として働いているが、この先を考えると不安で、正社員への転職を望んでいる」というのが代表的ケースである。正社員として就職できる能力・意欲をもった層が、企業の雇用調整等のため、心ならずも派遣社員や契約社員という不安定な雇用形態で働いている場合がある。

また、「やりたいことがわからない」「やりたい仕事があるがどうやったら就けるのかわからない」「就職活動に出遅れた。このまま就職できなかつたらどうしよう」と、ひとり悩む大学生・専門学校生・高校生などもここに含まれる。在籍する学校によってキャリア形成に係る支援レベルに、まだまだかなりの格差があるように思われる。

②には、卒業後、正社員として就職したが、「人員削減で仕事量が厩大になり、体をこわした」「リストラにあった」などの事情で離職、その後アルバイトなどをしながら正社員としての再就職を探しているが、なかなか決まらないといったケースがある。

このように、私どもカウンセラーは、若者からの相談を通して、若者を取り巻く就業環境の厳しさや、いちど正規雇用のルートからはずれると復活がむずかしい現実をまのあたりにしてきた。

昨今、いわゆるニート・ひきこもりの問題が注目され、行政施策が講じられてきている。こうした課題を抱える子や親への社会的支援は今後も必要であろう。また、ニート・ひきこもりであるなしにかかわらず、①②のように、親や友人にも相談できずに、一人で悩みを抱えているケースも少なくないと思われる。

こうした若者たちの多くは、「安定して働きたい」「一日も早く親を安心させたい」「仕事を通じて能力を高めたい」と望みながら、必死にその方法を模索しているのではないだろうか。彼らが、職業社会に居場所を見つけ、安心して働いていけることこそ、社会全体の活力と安定につながるものと思う。

地域におけるキャリア形成支援の意義は、組織に頼れない人、組織を離れた人たちが、いつでも気楽に相談できることにある。当事例において、たまたま「あだちYJC」の存在を知り、勇気を振り絞って來所した若者には、キャリア・カウンセリングを受け、「新たな気づきがあった」「自分に自信が持てるようになってきた」「一人で悩んでいたがカウンセリングに来てよかった」「またカウンセリングを受けたい」とアンケートに答える者が多くいた。このような地域における相談支援の地道な取組みによって、若者を孤立させない努力が重要であり、行政や関係機関、地域の学校や企業等

とも連携をとりながら、多くの地域で展開されることが望ましいと考える。

一方、地域における取組みの困難さも感じている。あだちYJCに来所し自信を得た若者が、その後も引き続き自分を見失わずに職業人生を歩んでいるかどうか、必要な情報を入手し職業選択や人生設計を行っているかどうかについては、今のところ関与できていない。

企業内や学校内であればフォローが比較的容易であろうが、地域では主に、自らの意志で来所した者に対し、支援がなされることが多いと思われる。新たな悩みを抱えた場合には、いつでも再来所できるよう、カウンセリングの過程で促すことや、電話やメールの利用なども含めたフォローアップのしくみを検討することが必要かと思われる。

(2) 地域におけるキャリア形成支援の課題

地域でのキャリア・カウンセリング活動を実施してきた経験から、今後、各地域に展開にしていく上での留意点・課題と思われることを以下にまとめる。

① 相談支援者の資質とスーパーバイザーの存在

当NPOでは、提供するサービスの品質・品性を重要視し、カウンセラーには上記5に示した姿勢・態度を求めた。また、カウンセラーに対し、必要時に適切な指導・助言が受けられるようにスーパーバイザーを配置した。このカウンセラーの質をいかに確保するか、スーパーバイザーを適切に配置できるかが地域展開の一つのポイントになると思われる。特に、若者に対するカウンセリングでは、若者の特徴を理解できること、若者の気持ちを受容できること、上からの目線ではなく若者の目線での支援ができること等の姿勢・態度が大前提として求められる。また、若者の相談にあっては、メンタルヘルスの課題を抱える者も少なくなく、その見立てや適切な対応ができることが必要となる。きちんとしたサービスが提供できるカウンセラーを確保するとともに、メンタルヘルスの課題にも対応できるスーパーバイザーを確保したチーム構成が重要と思われる。

② 支援施設の周知広報と地域内の学校、企業等との連携

あだちYJCでは、足立区を中心に専門を異にする2つのNPOが相互協力のもとに支援を行った。区の協力のもとに広報が行われ、また、あだちYJCのスタッフの努力によって若者が来所しやすい雰囲気づくりに努めたため、徐々に来所する若者等が多くなった。しかしながら、相談等を受けたくても、その存在を知らない若者等もまだ多くいると思われる。

地域における支援の展開では、いかに多くの地域住民に施設の存在を知ってもらえるかが一つの課題であろう。学校に在学中の若者で学校に相談できる体制がない場合や、学校関係者には相談したくないが地域での相談なら受けてみたいと思っている若者もいると考えられる。また、学校のみならず、企業に在籍している者にあっ

ても同様のケースが考えられる。今後の地域展開に当たっては、一般住民に対する周知広報とともに、地域内の学校や企業等に対しても支援施設や支援内容の理解を得て、学校に在学する学生・生徒や企業に在籍する従業員等に広報することも必要と考える。地域・企業・学校がそれぞれ連携した展開によって、地域における支援の意義が一層高まるのではないだろうか。

また、あだちY J Cの例では、足立区以外の区や都外からの来所者もいた。これらの相談者は、なるべく自宅から離れた地域での相談を望んでいたり、または自宅がある地域に相談支援施設がないために足立区に来所した等の理由が考えられるが、いずれの場合であっても、より多くの地域で支援が行われることが求められると思う。